

第4章

独自設問の分析結果

第4章 独自設問の分析結果

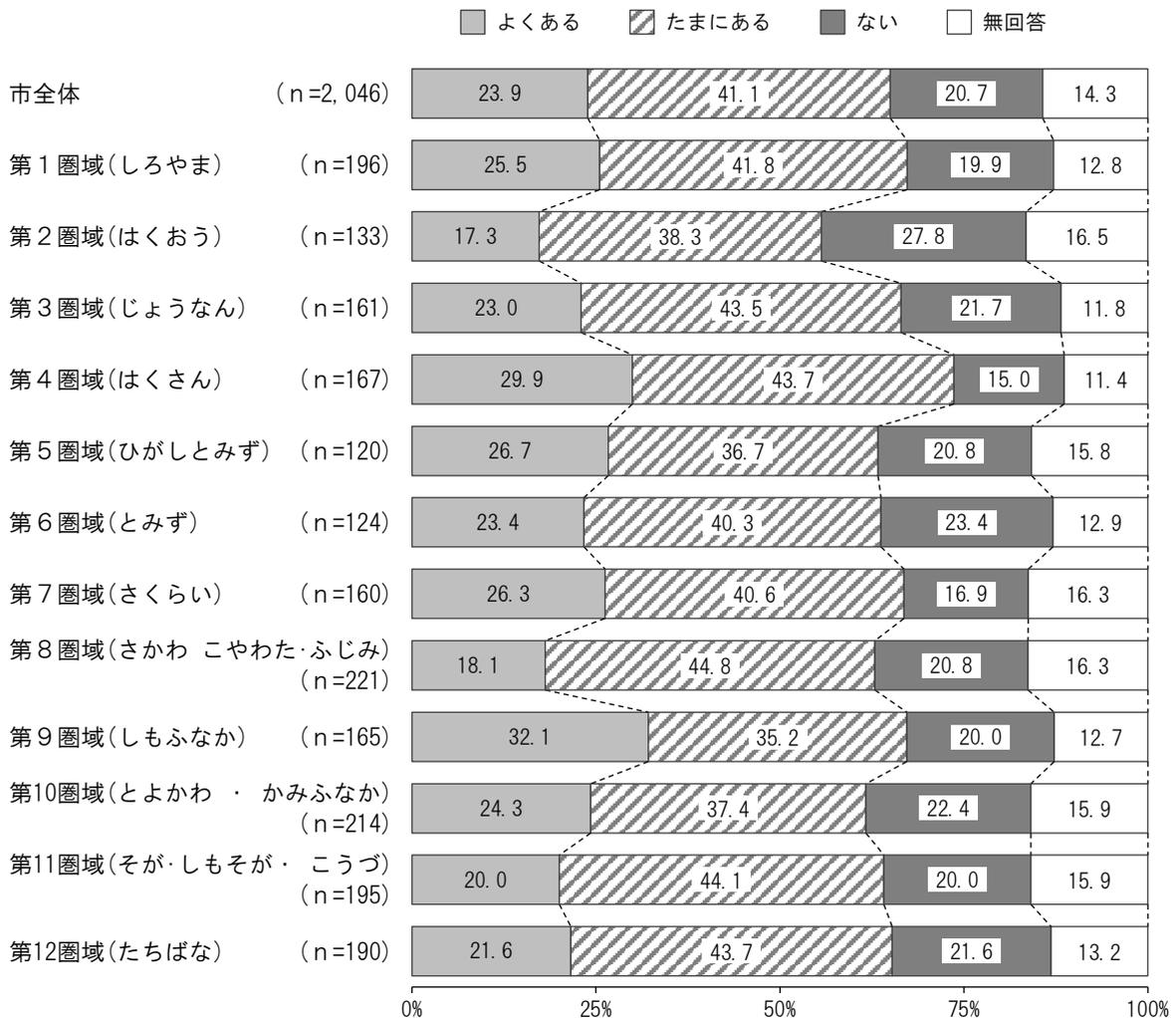
1 家族や生活状況について

1-問1-2 (家族など同居されている方のみ) 日中、一人になることがありますか。

日中一人になることの有無は、市全体で「よくある」が23.9%、「たまにある」が41.1%となり、両者合わせて65.0%が『ある』と回答しています。

日常生活圏域別にみると、『ある』は、第4圏域(はくさん)で73.6%、第1圏域(しろやま)・第9圏域(しもふなか)で各67.3%、第7圏域(さくらい)で66.9%と高くなっています。

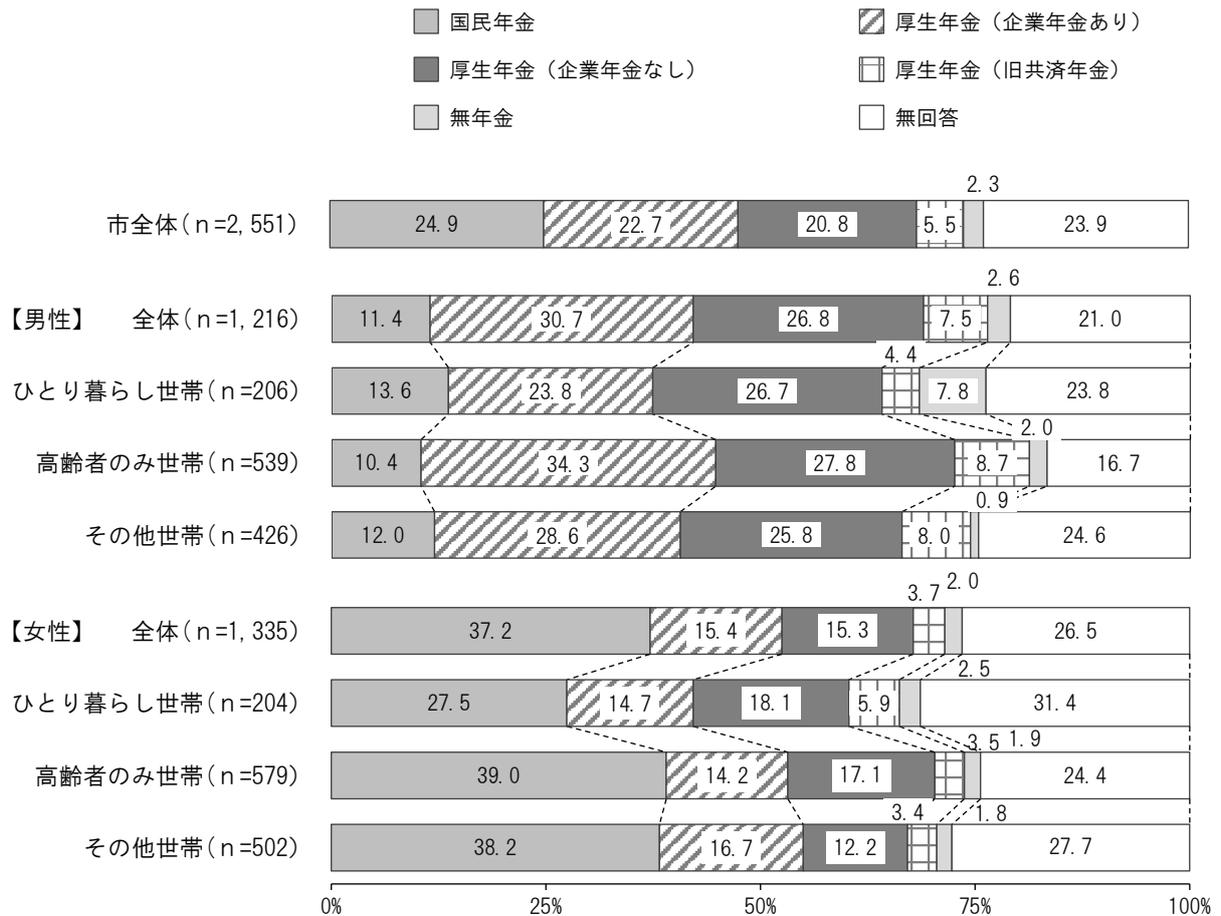
図 4.1 日中一人になることの有無(日常生活圏域別)



1-問2 年金の種類は次のどれですか。※企業年金とは、勤めていた会社からの年金のことです

年金の種類は、市全体で「国民年金」が24.9%、「厚生年金（企業年金あり）」が22.7%、「厚生年金（企業年金なし）」が20.8%となっています。
性別・家族構成別にみると、「国民年金」は男性より女性の割合が高く、男性のひとり暮らし世帯が13.6%と、他の家族構成と比べて高くなっています。

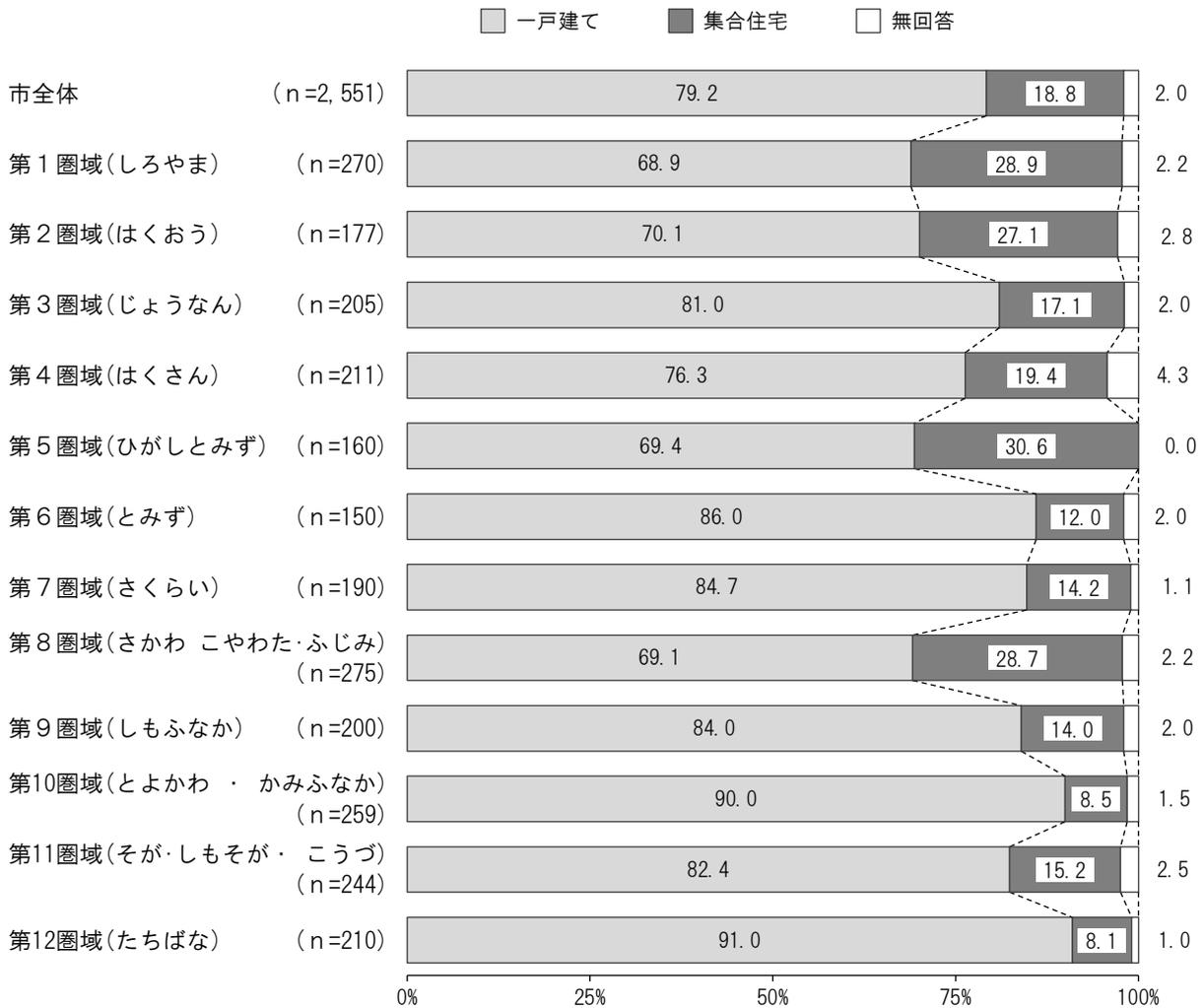
図 4.2 年金の種類（性別・家族構成別）



1-問3 お住まいは一戸建て、または集合住宅のどちらですか。

居住形態は、市全体で「一戸建て」が79.2%、「集合住宅」が18.8%となっています。
 日常生活圏域別にみると、「一戸建て」は第12圏域（たちばな）で91.0%、第10圏域（とよかわ・かみふなか）で90.0%と高く、「集合住宅」は第5圏域（ひがしとみず）で30.6%、第1圏域（しろやま）で28.9%と高くなっています。

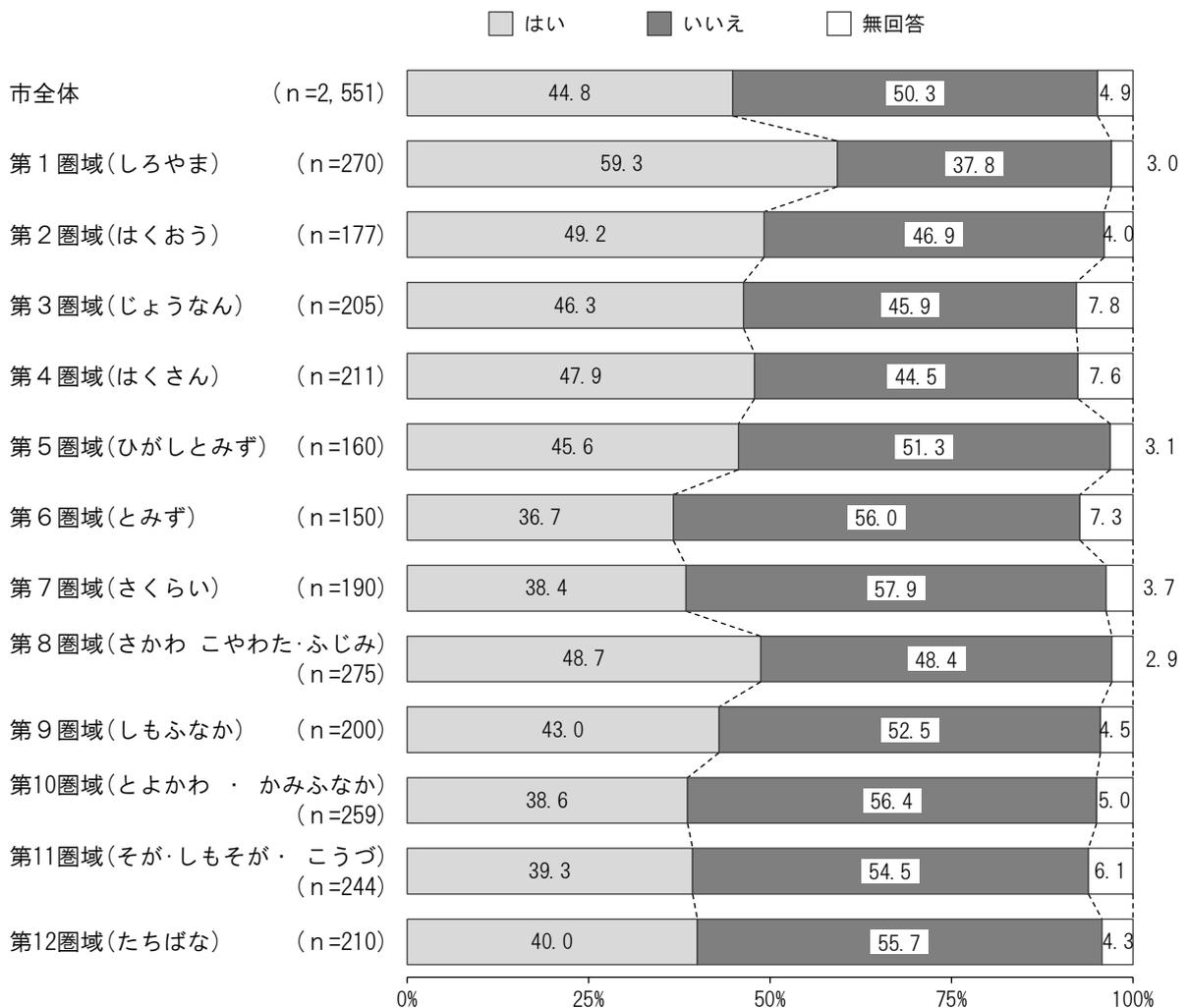
図 4.3 居住形態（日常生活圏域別）



1-問4 お住まい（主に生活する部屋）は2階以上にありますか。

主に生活する部屋が2階以上にある割合は、市全体で44.8%となっています。
 日常生活圏域別にみると、生活する部屋が2階以上にある割合は、第1圏域（しろやま）で59.3%、第2圏域（はくおう）で49.2%、第8圏域（さかわ こやわた・ふじみ）で48.7%と高くなっています。

図 4.4 主に生活する部屋が2階以上（日常生活圏域別）



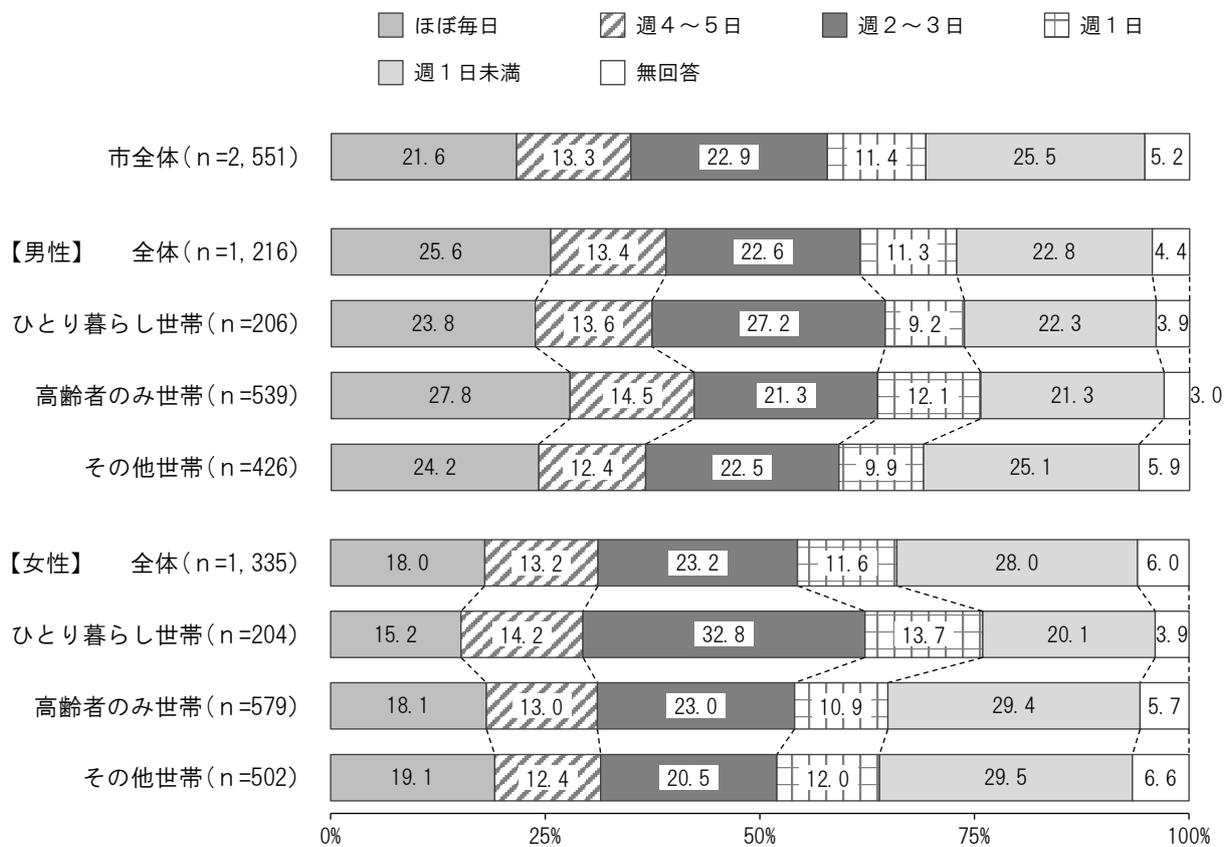
2 運動・閉じこもりについて

2-問5 散歩で外出をする頻度はどれくらいですか。

外出頻度は、市全体では「週1日未満」が25.5%、続いて「週2～3日」が22.9%となっています。

性別・家族構成別にみると、「週1日未満」は「ひとり暮らし世帯」を除いて女性の割合が男性を上回っています。また、女性のその他世帯の割合が29.5%と、他の家族構成と比べて最も高くなっています。

図 4.5 外出頻度（性別・家族構成別）

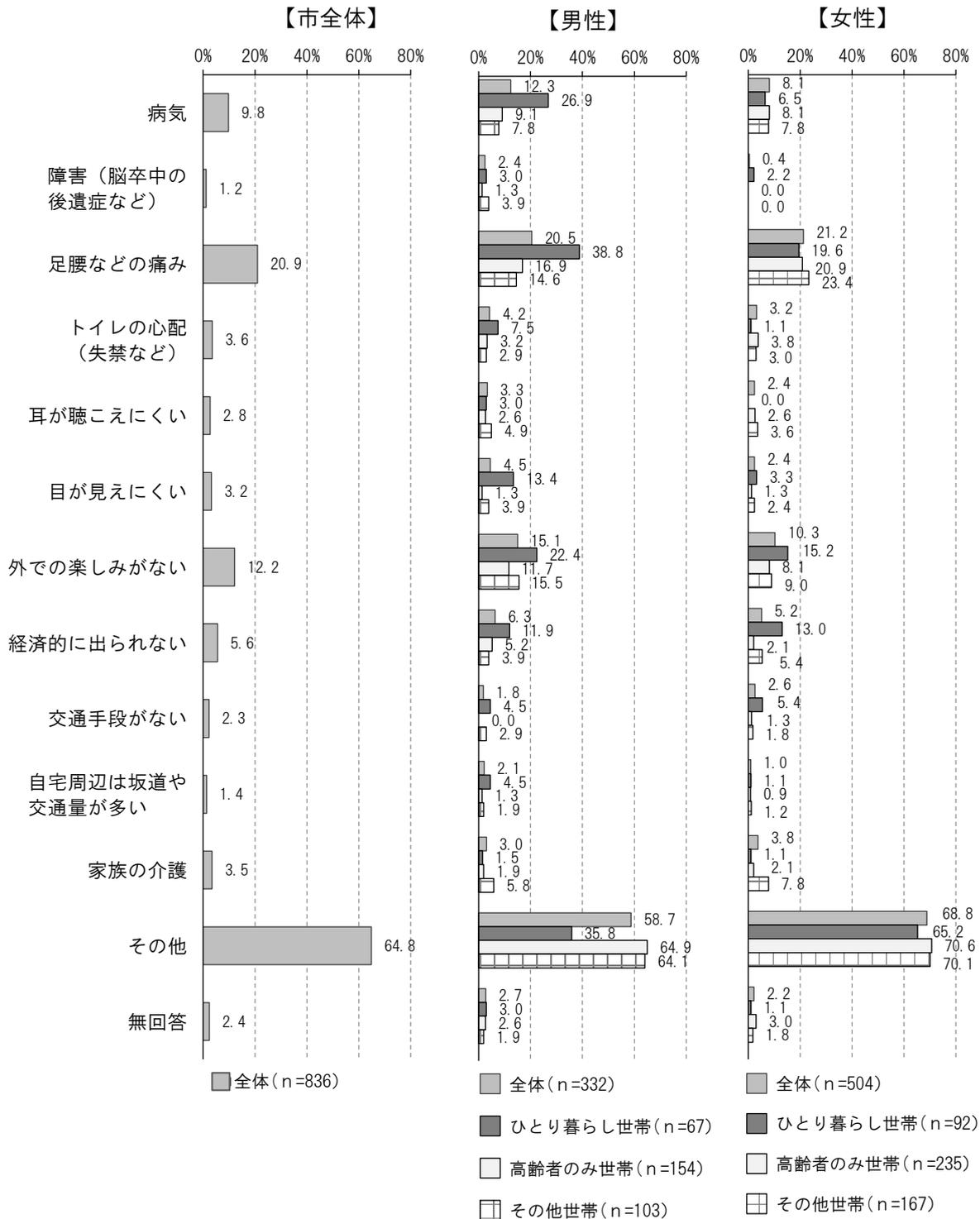


2-問7 (昨年と比べて外出の回数が減っている方のみ)

外出の回数が減っている理由はなんですか。※〇はいくつでも

外出が減った理由を市全体でみると、「足腰などの痛み」が20.9%で最も高く、次いで「外での楽しみがない」が12.2%となっています。性別・家族構成別にみると、男性のひとり暮らし世帯で「足腰などの痛み」が38.8%、「病気」が26.9%と高く、女性のその他世帯で「足腰などの痛み」が23.4%と最も高くなっています。

図 4.6 外出が減った理由 (性別・家族構成別)

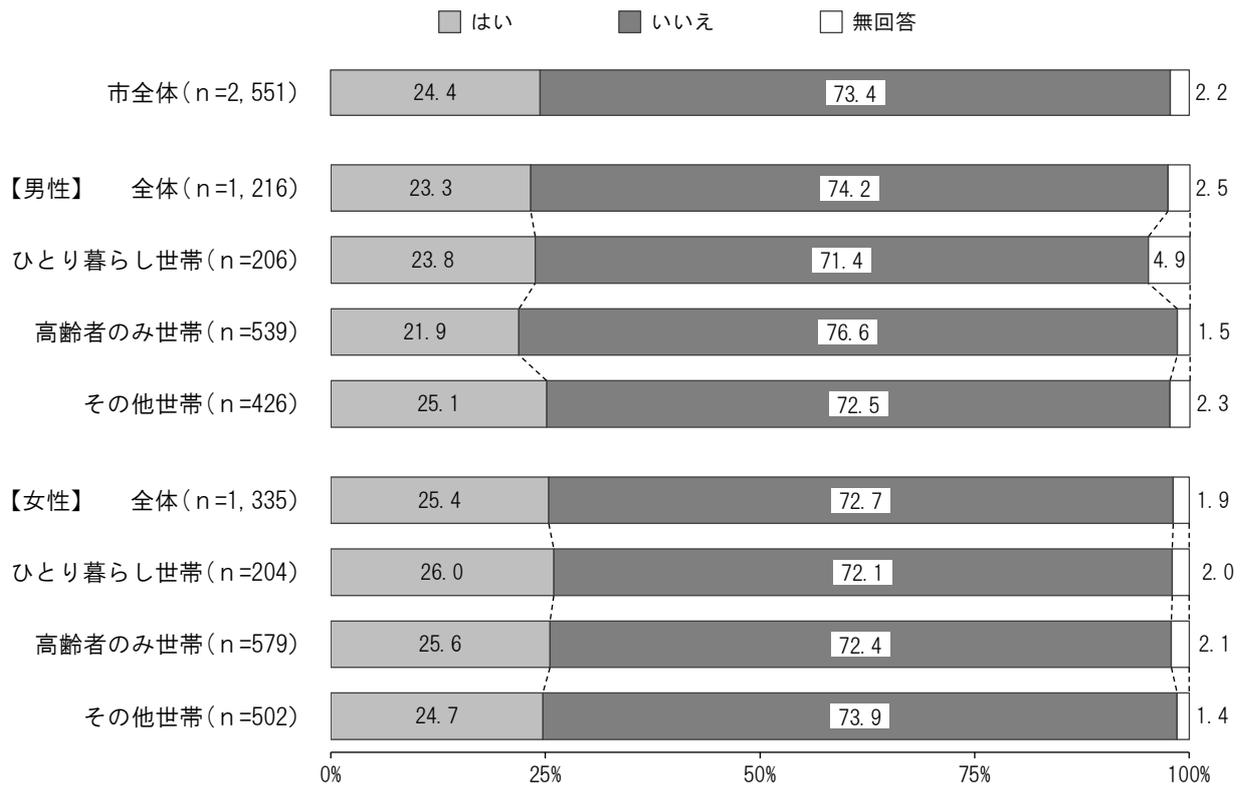


3 転倒について

3-問3 背中が丸くなってきましたか。

背中が丸くなってきたと回答した割合は、市全体で24.4%となっています。
 性別・家族構成別にみると、男性はその他世帯が25.1%、女性はひとり暮らし世帯が26.0%と最も高くなっています。

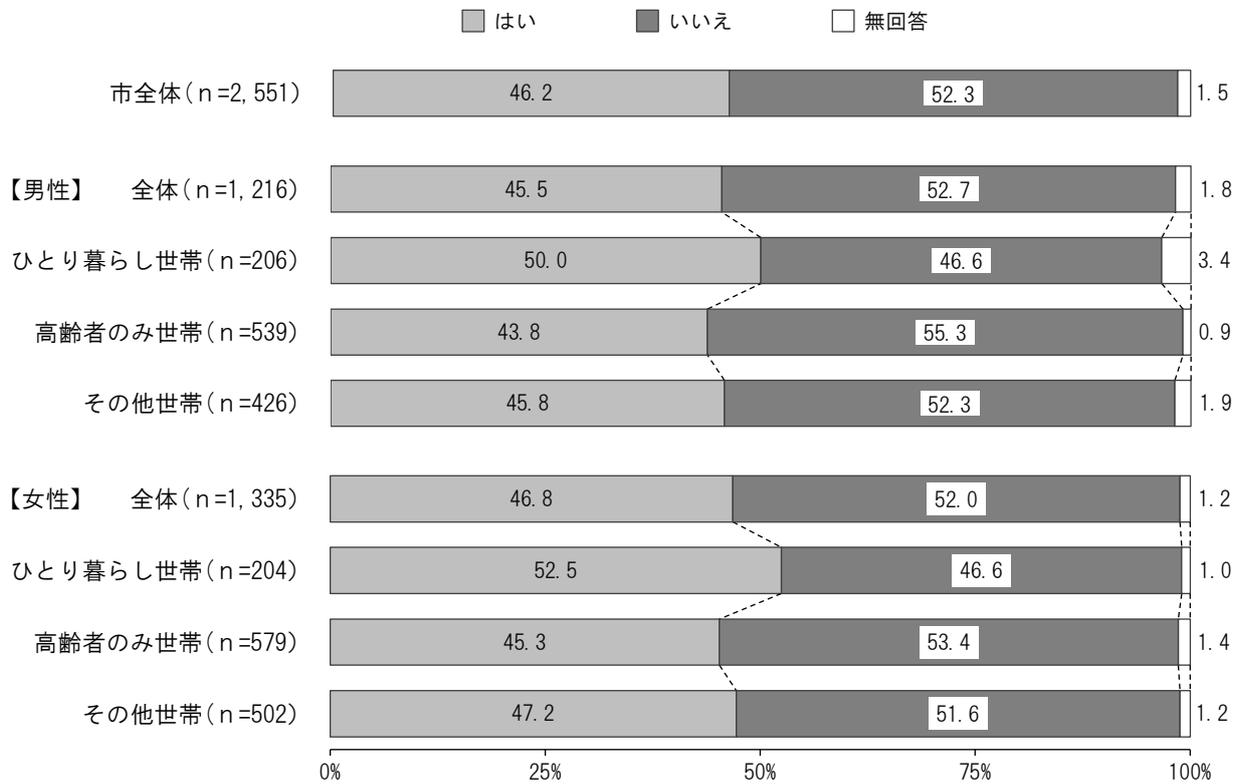
図 4.7 背中の状態（性別・家族構成別）



3-問4 以前に比べて歩く速度が遅くなってきたと思いますか。

歩く速度が遅くなってきたと回答した割合は、市全体で46.2%となっています。
性別・家族構成別にみると、歩く速度が遅くなった人の割合は男女ともに、ひとり暮らし世帯が最も高くなっています。

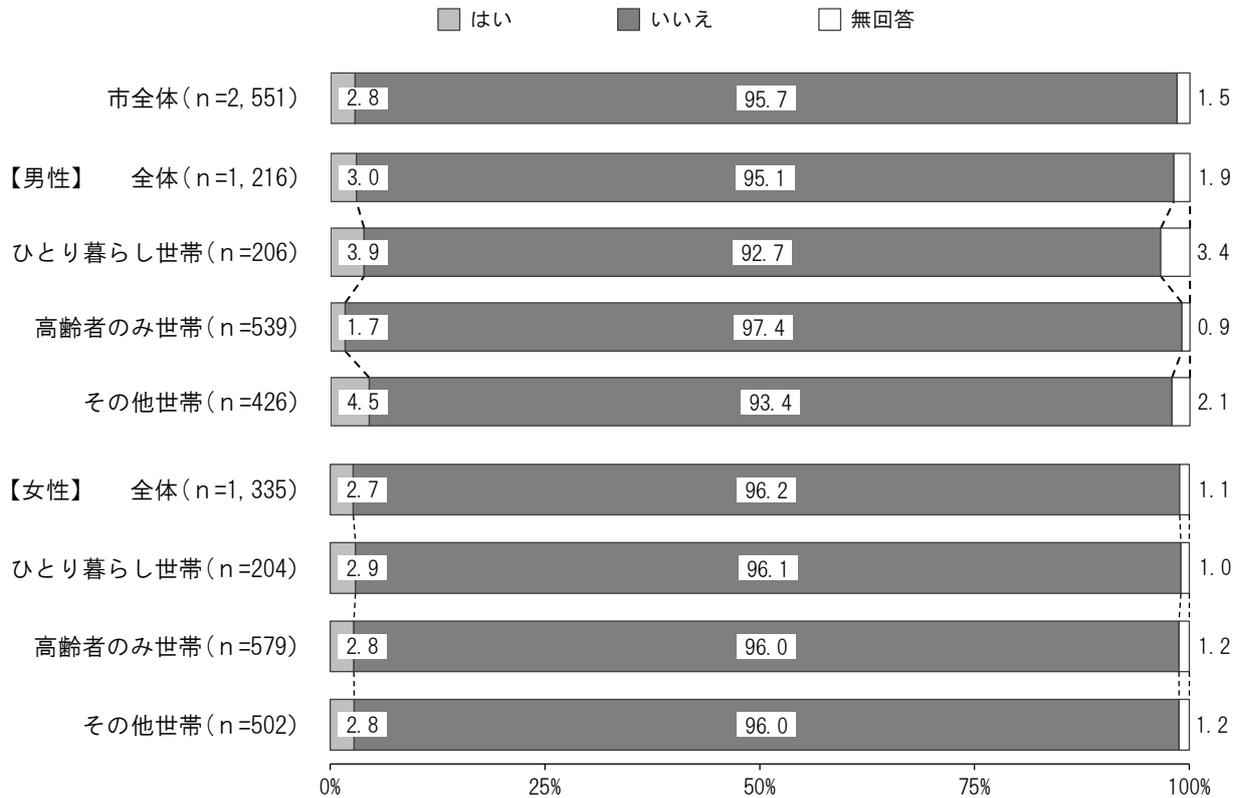
図 4.8 歩く速度の変化（性別・家族構成別）



3-問5 杖を使っていますか。

杖を使っていると回答した割合は、市全体で2.8%となっています。
 性別・家族構成別にみると、男性はその他世帯が4.5%、女性はひとり暮らし世帯で2.9%と他の家族構成と比べてやや高くなっています。

図 4.9 杖の使用度（性別・家族構成別）

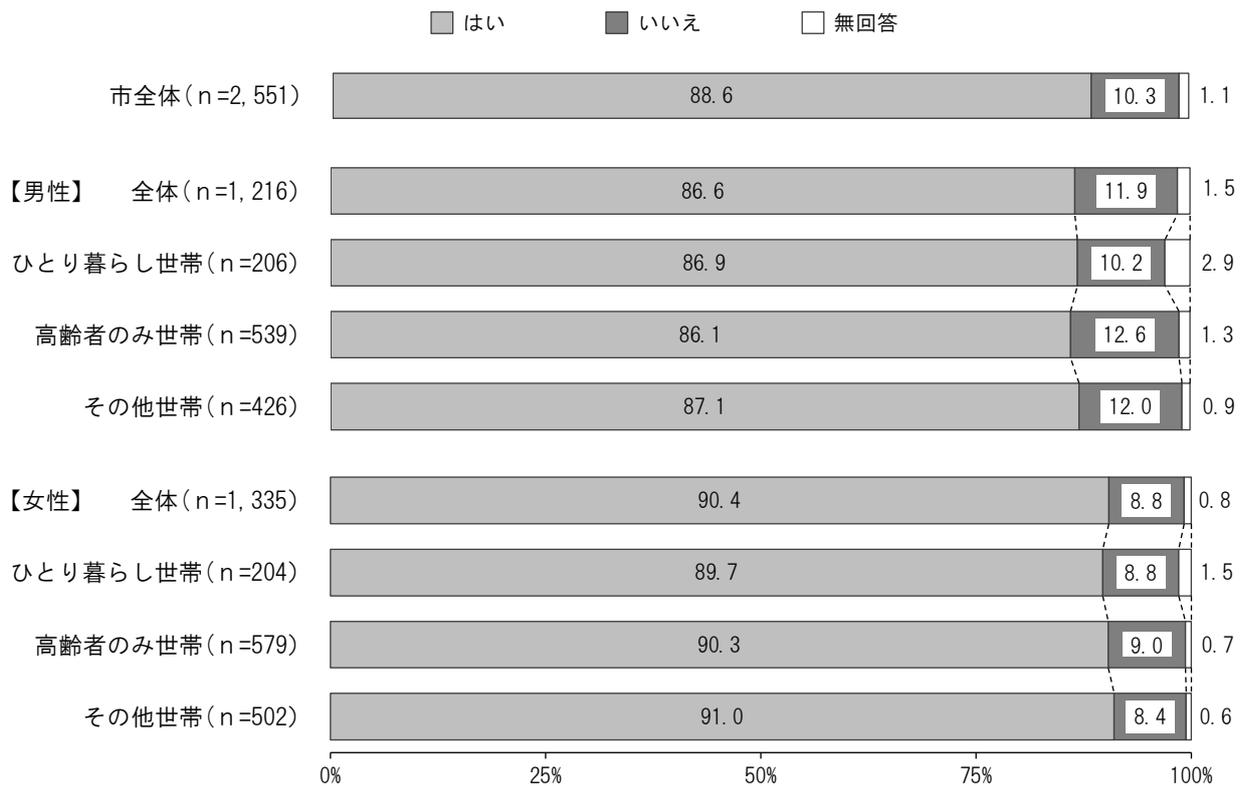


4 物忘れについて

5-問4 5分前のことが思い出せますか。

5分前のことが思い出せないと回答した割合は、市全体で10.3%となっています。
 性別・家族構成別にみると、男性のひとり暮らし世帯、女性のその他世帯が、他の家族構成と比べてやや高く、男性の割合が女性を上回っています。

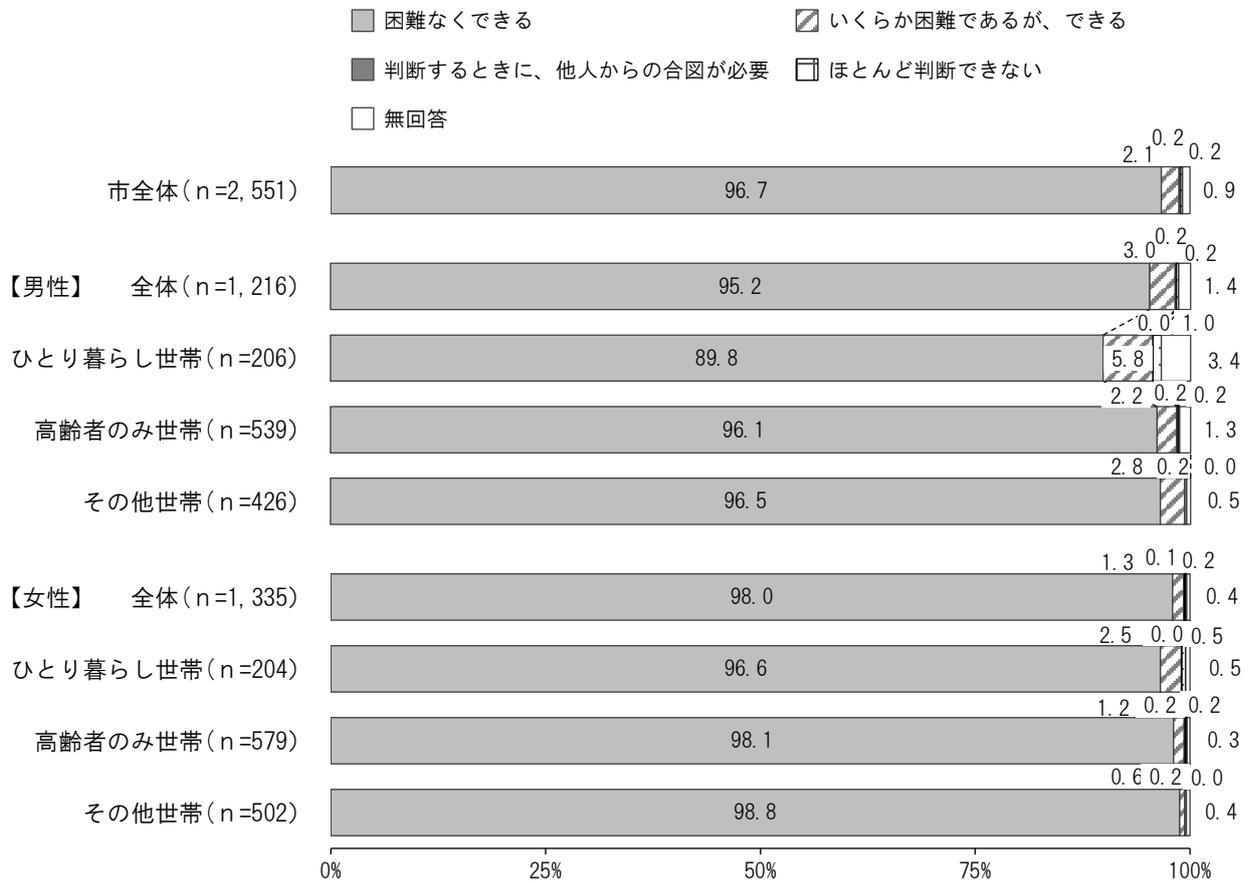
図 4.10 5分前の記憶の有無（性別・家族構成別）



5-問5 その日の活動(食事をする、衣服を選ぶなど)を自分で判断できますか。

自分で日々の活動の判断ができると回答した割合は、市全体で96.7%となっています。
性別・家族構成別にみると、男性のひとり暮らし世帯で「困難なくできる」割合は他の家族構成と比べ、やや低くなっています。

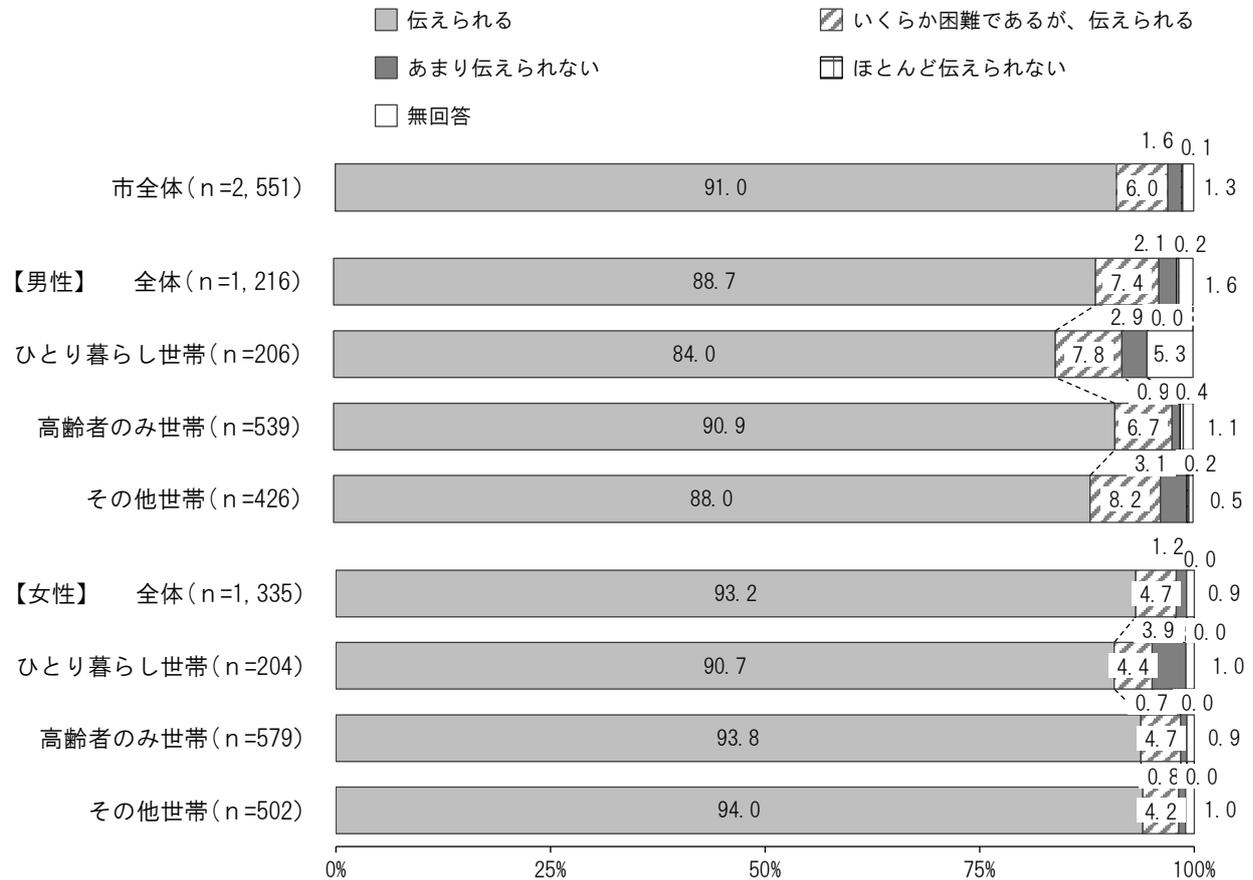
図 4.11 日々の活動の判断の可否（性別・家族構成別）



5-問6 人に自分の考えをうまく伝えられますか。

人に自分の考えを「伝えられる」と回答した割合は、市全体で91.0%となっています。
性別・家族構成別にみると、男女ともにひとり暮らし世帯で、「伝えられる」割合は他の家族構成と比べ、やや低くなっています。

図 4.12 意思の伝達の可否（性別・家族構成別）



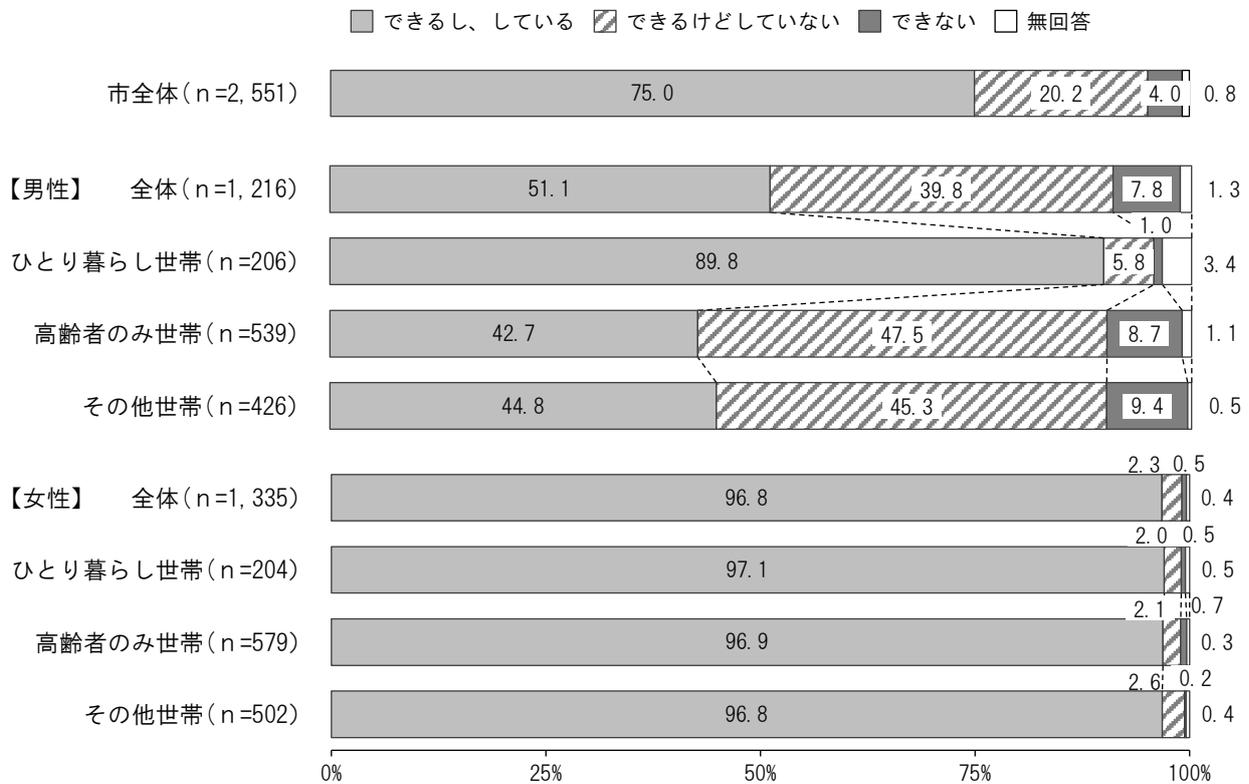
5 毎日の生活について

6-問3 自分で食事の用意をしていますか。

自分で食事の用意を「できるし、している」と回答した割合は、市全体で75.0%となっています。「できない」は4.0%となっています。

性別・家族構成別にみると、男性のひとり暮らし世帯で「できるし、している」の割合が89.8%と他の家族構成と比べて高くなっています。一方で、高齢者のみ・その他世帯においては「できるけどしていない」と「できない」を合わせた割合が、「できるし、している」の割合を上回っています。

図 4.13 食事の用意の可否（性別・家族構成別）

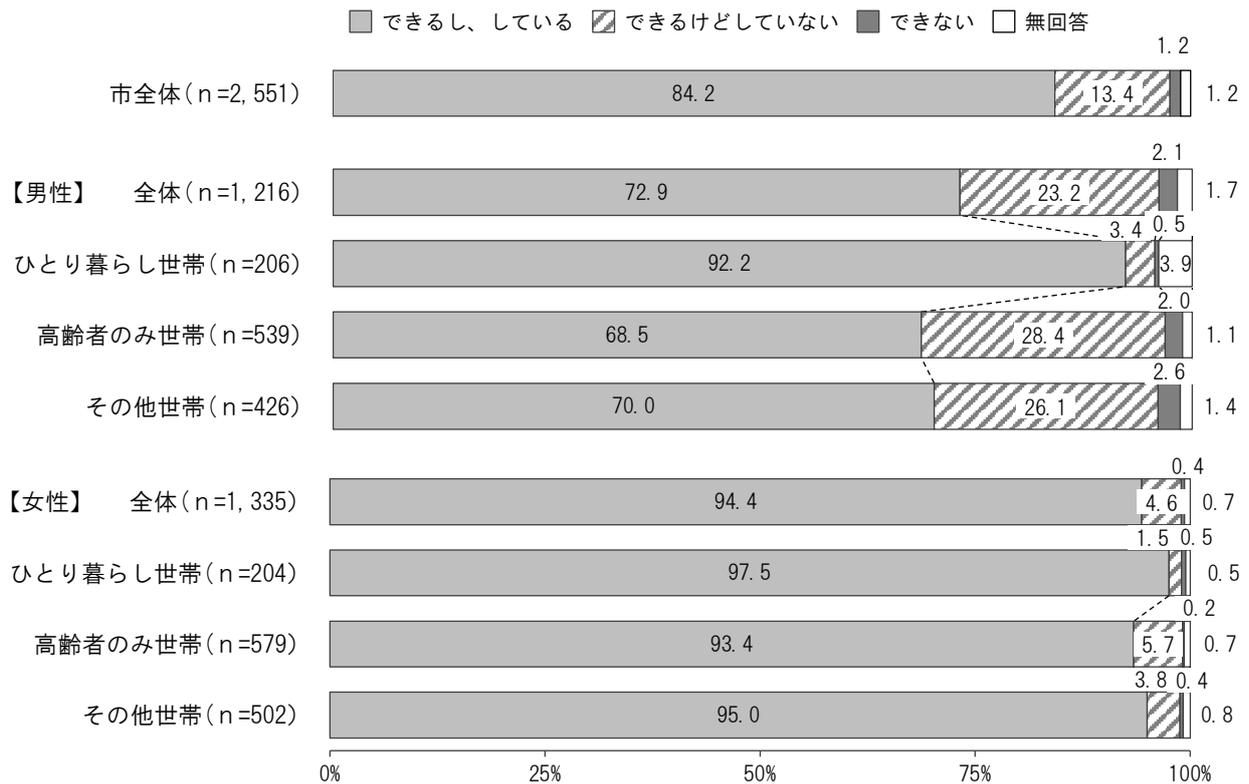


6-問4 請求書の支払いをしていますか。

請求書の支払いが「できるし、している」と回答した割合は、市全体で84.2%となっています。「できない」は1.2%となっています。

性別・家族構成別にみると、男性の「できるけどしていない」「できない」を合わせた割合は全ての世帯で女性を上回り、高齢者のみ・その他世帯においては約3割となっています。

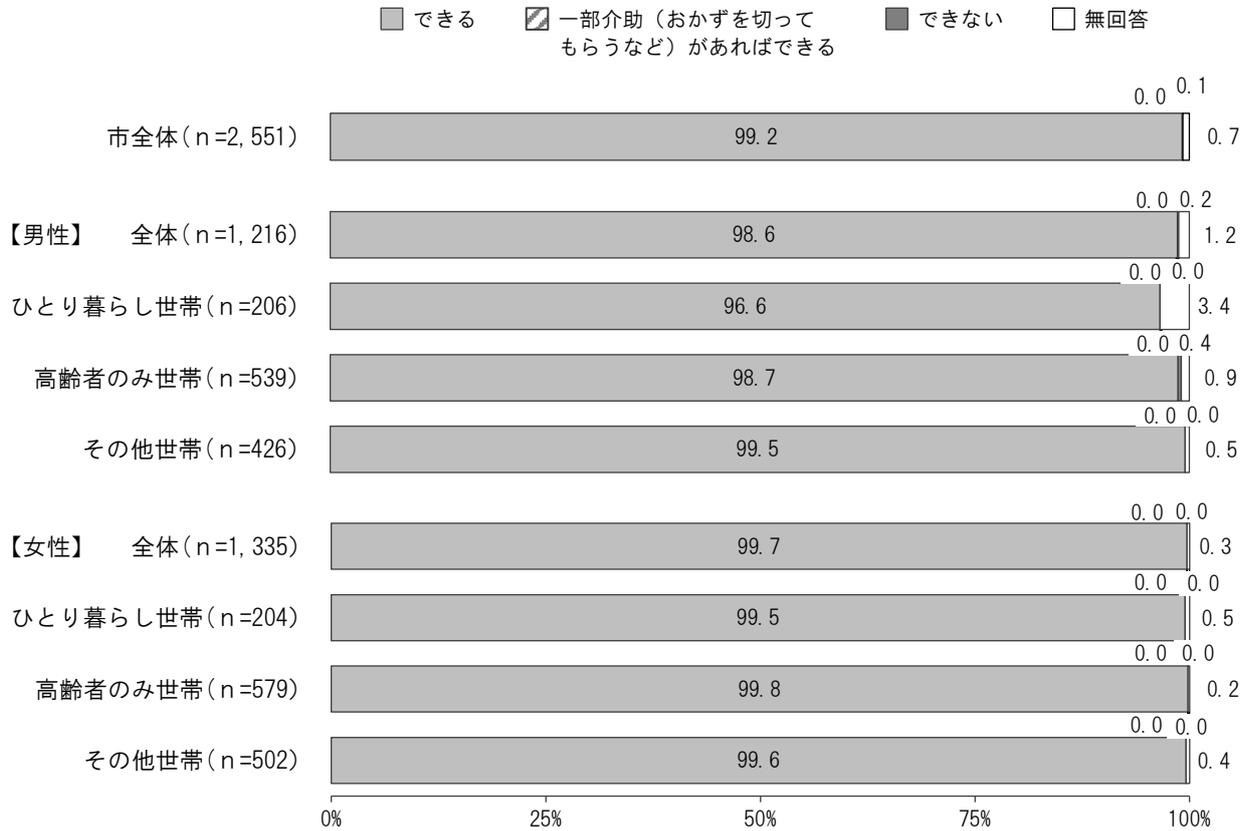
図 4.14 請求書の支払いの可否（性別・家族構成別）



6-問6 食事は自分で食べられますか。

自分で食事が「できる」と回答した割合は、市全体で99.2%と大半を占め、「できない」は0.1%となっています。
性別・家族構成別にみても、「できる」の割合は90%台後半で大きな差はみられません。

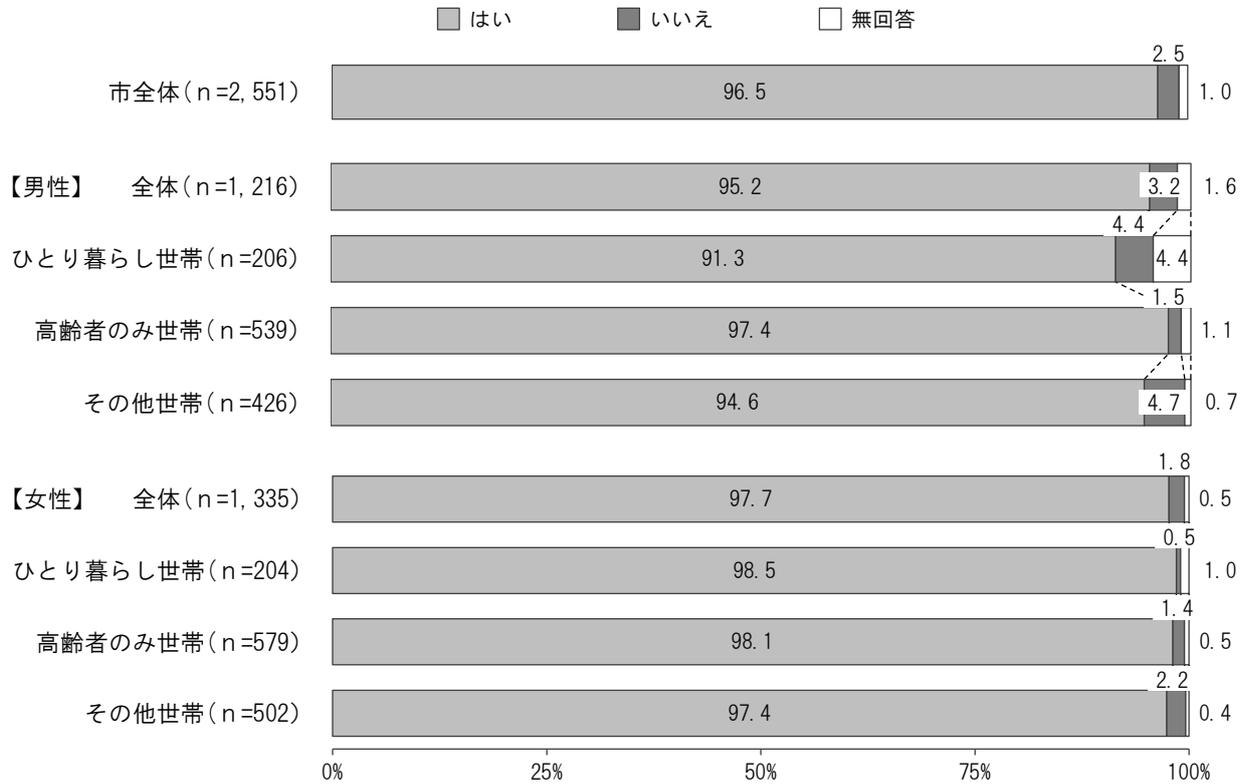
図 4.15 食事能力の有無（性別・家族構成別）



6－問7 年金などの書類（役所や病院などに出す書類）が書けますか。

年金などの書類（役所や病院などに出す書類）が書けると回答した割合は、市全体で96.5%、「いいえ」は2.5%となっています。
性別・家族構成別にみても、大きな差はみられません。

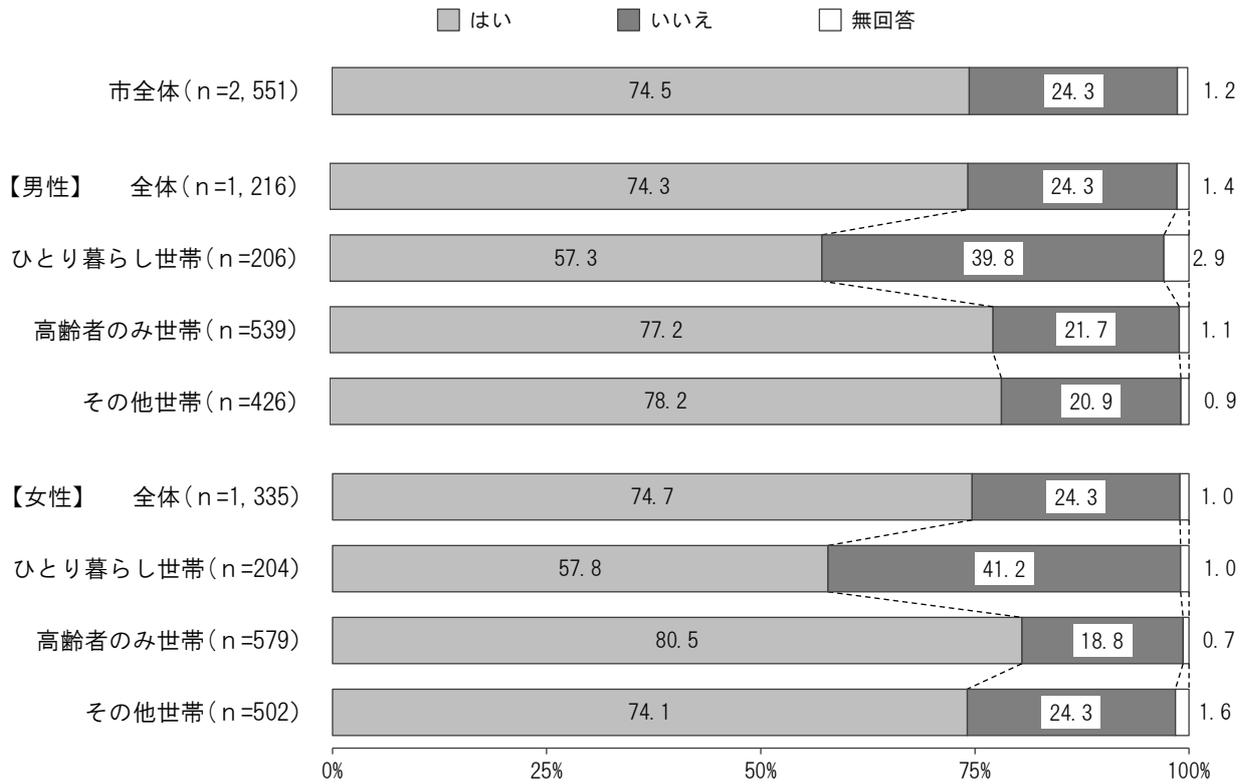
図 4.16 書類記入能力の有無（性別・家族構成別）



6-問8 新聞を読んでいますか。

新聞を読んでいると回答した割合は、市全体で74.5%、「いいえ」が24.3%となっています。
 性別・家族構成別にみると、男女ともにひとり暮らし世帯で「いいえ」の割合が他の家族構成と比べて高く、男性で39.8%、女性で41.2%となっています。

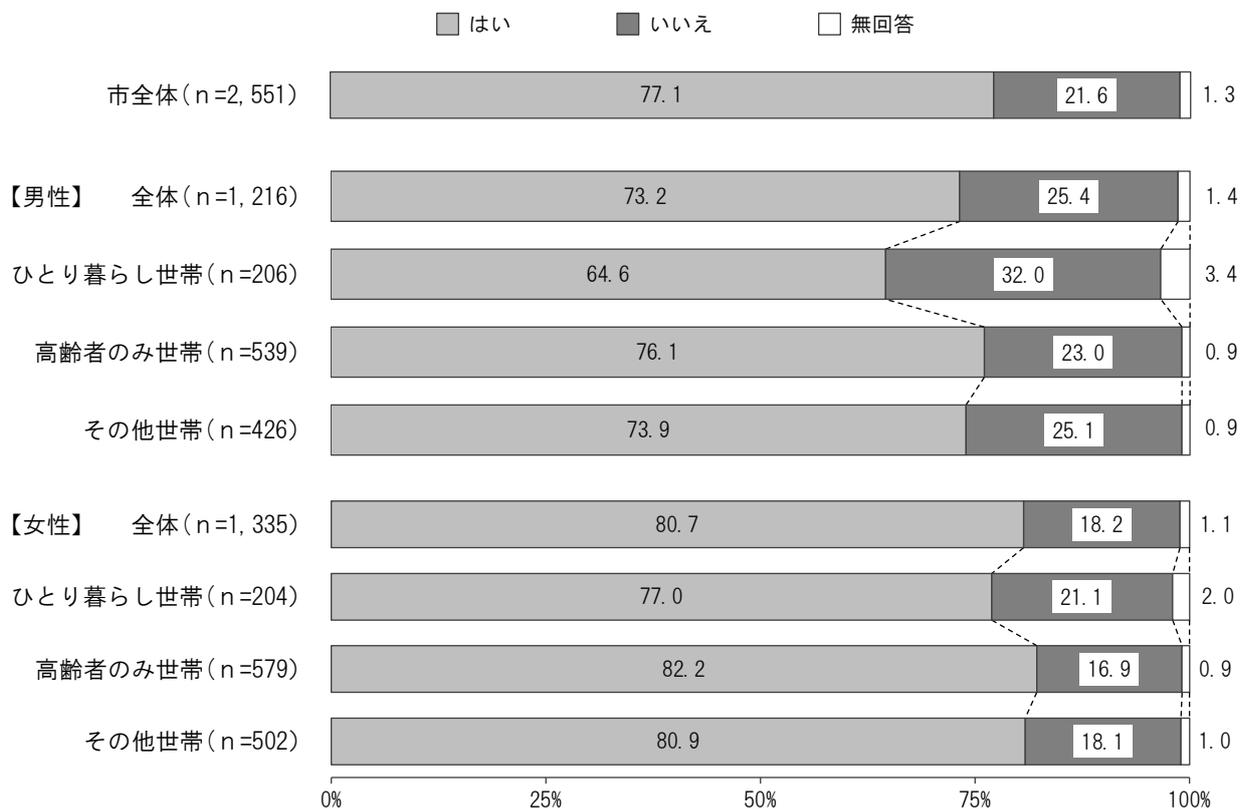
図 4.17 新聞購読の有無（性別・家族構成別）



6-問9 本や雑誌を読んでいますか。

本や雑誌を読んでいると回答した割合は、市全体で77.1%、「いいえ」が21.6%となっています。
 性別・家族構成別にみると、男女ともにひとり暮らし世帯で「いいえ」の割合が他の家族構成と比べて高く、男性で32.0%、女性で21.1%となっています。

図 4.18 本や雑誌購読の有無（性別・家族構成別）

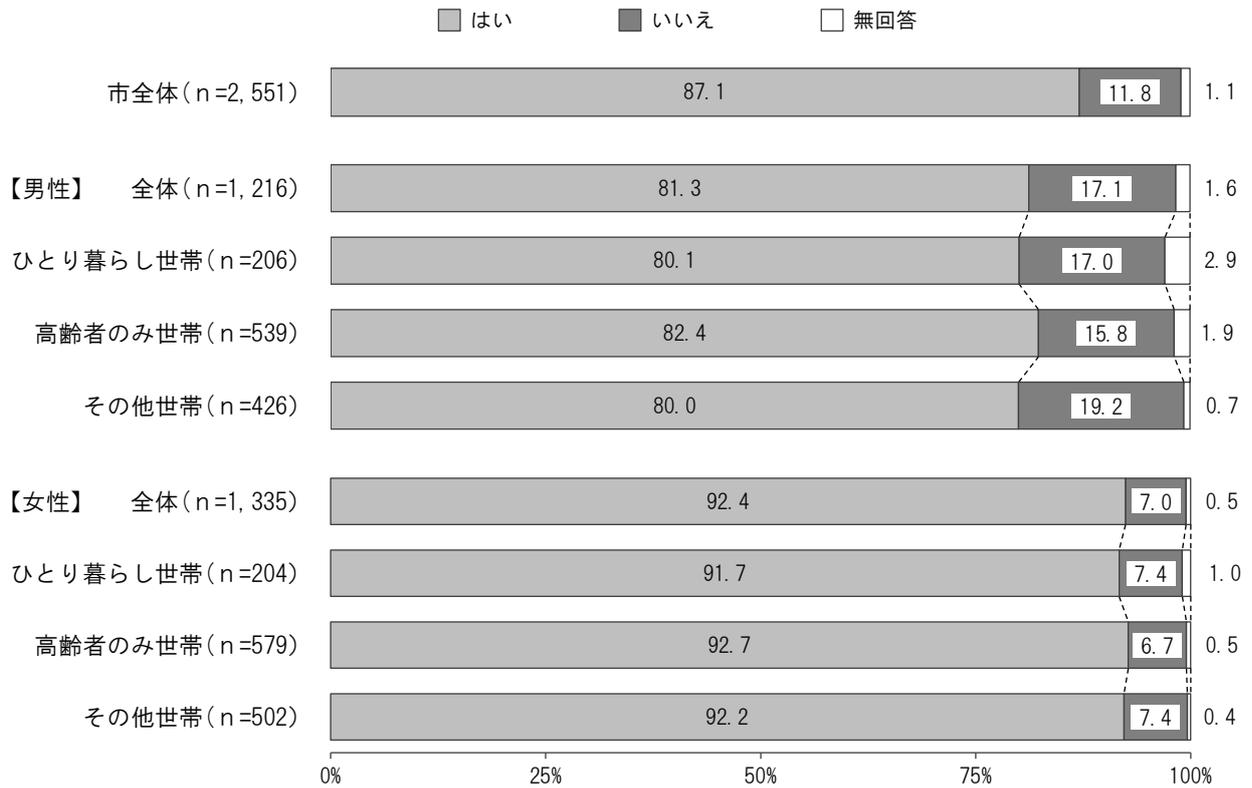


6-問10 健康についての記事や番組に関心がありますか。

健康についての記事や番組への関心があると回答した割合は、市全体で87.1%、「いいえ」が11.8%となっています。

性別・家族構成別にみると、男性の「いいえ」の割合は15%を超え、全ての家族構成で女性を上回っています。

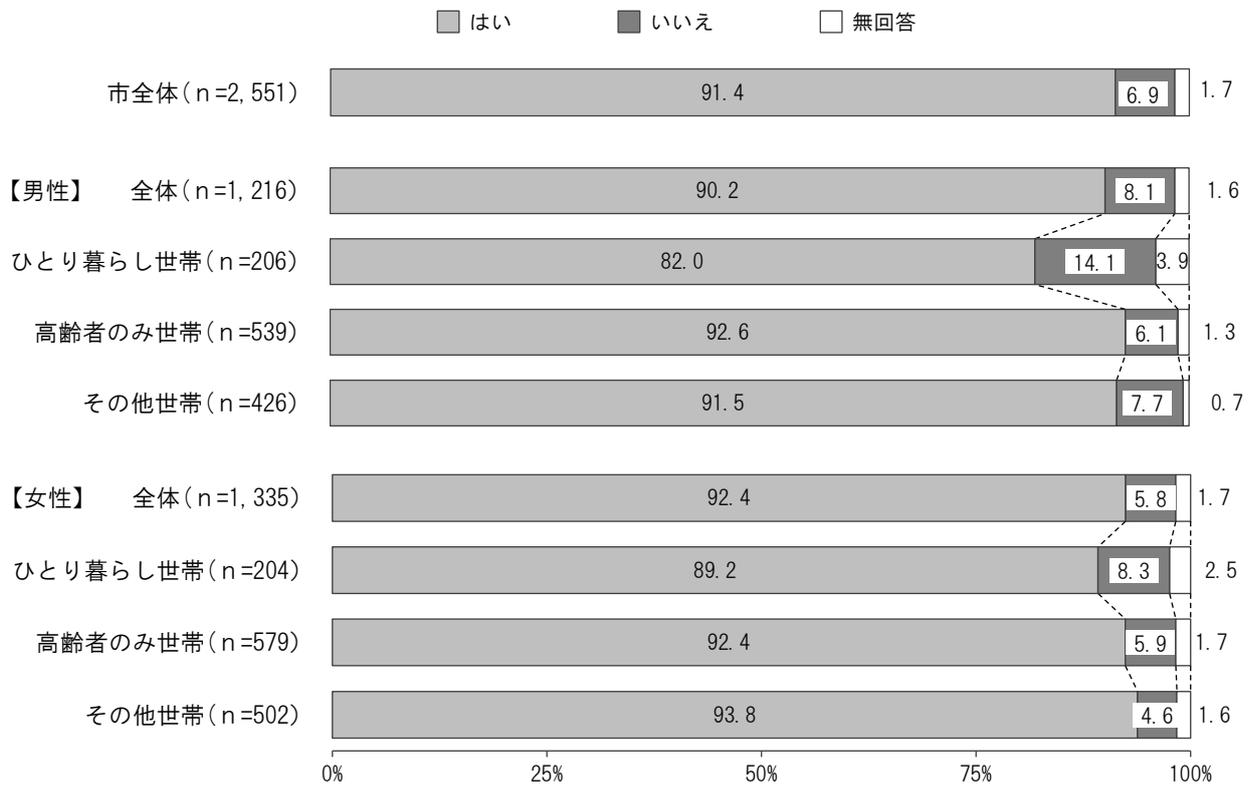
図 4.19 健康についての記事や番組の関心の有無（性別・家族構成別）



6-問13 病人を見舞うことができますか。

病人を見舞うことができると回答した割合は、市全体で91.4%、「いいえ」が6.9%となっています。
 性別・家族構成別にみると、「いいえ」と回答した割合は全ての家族構成で男性が女性を上回っています。特に、ひとり暮らし世帯が14.1%と、他の家族構成より高くなっています。

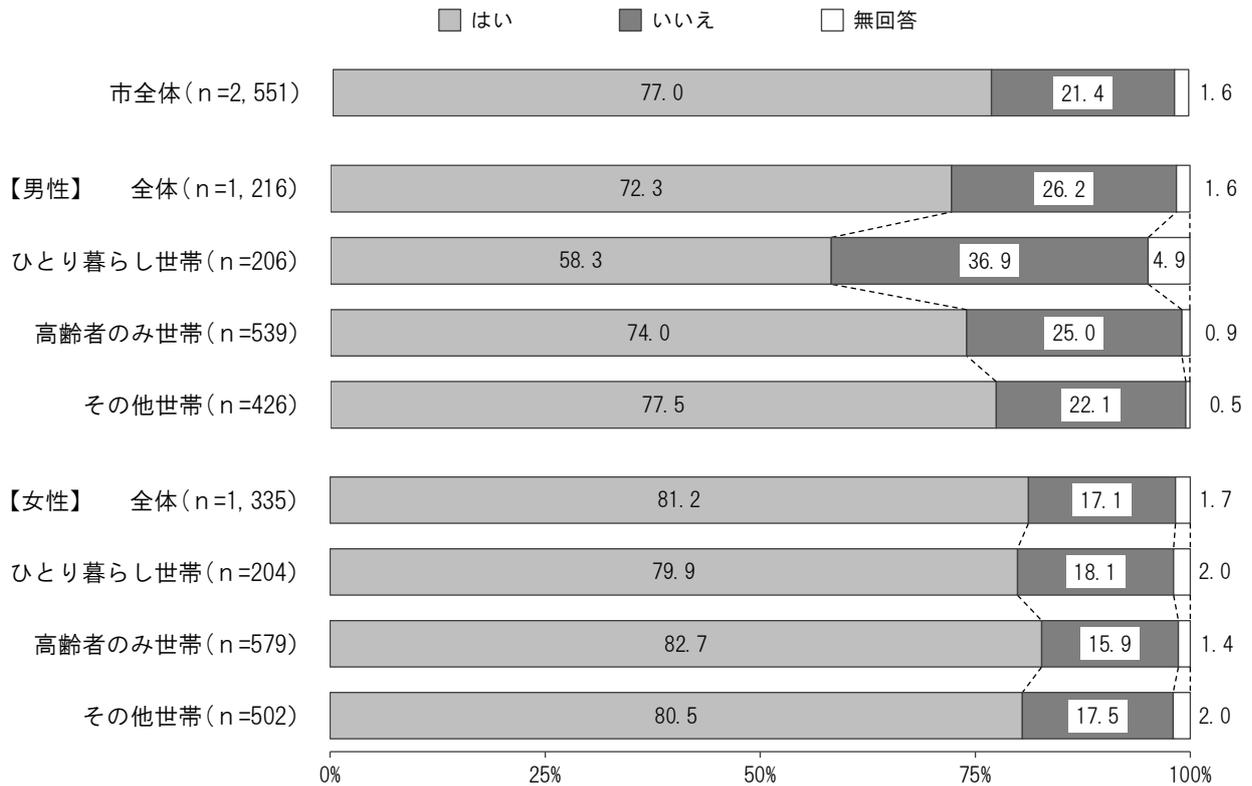
図 4.20 病人を見舞うことの有無（性別・家族構成別）



6-問 14 若い人に自分から話しかけることがありますか。

若い人に自分から話しかけることがあると回答した割合は、市全体で77.0%、「いいえ」が21.4%となっています。
 性別・家族構成別にみると、「いいえ」の割合は全ての家族構成で男性が女性を上回っています。特に、ひとり暮らし世帯が36.9%と他の家族構成より高くなっています。

図 4.21 若い人に話しかけることの有無（性別・家族構成別）



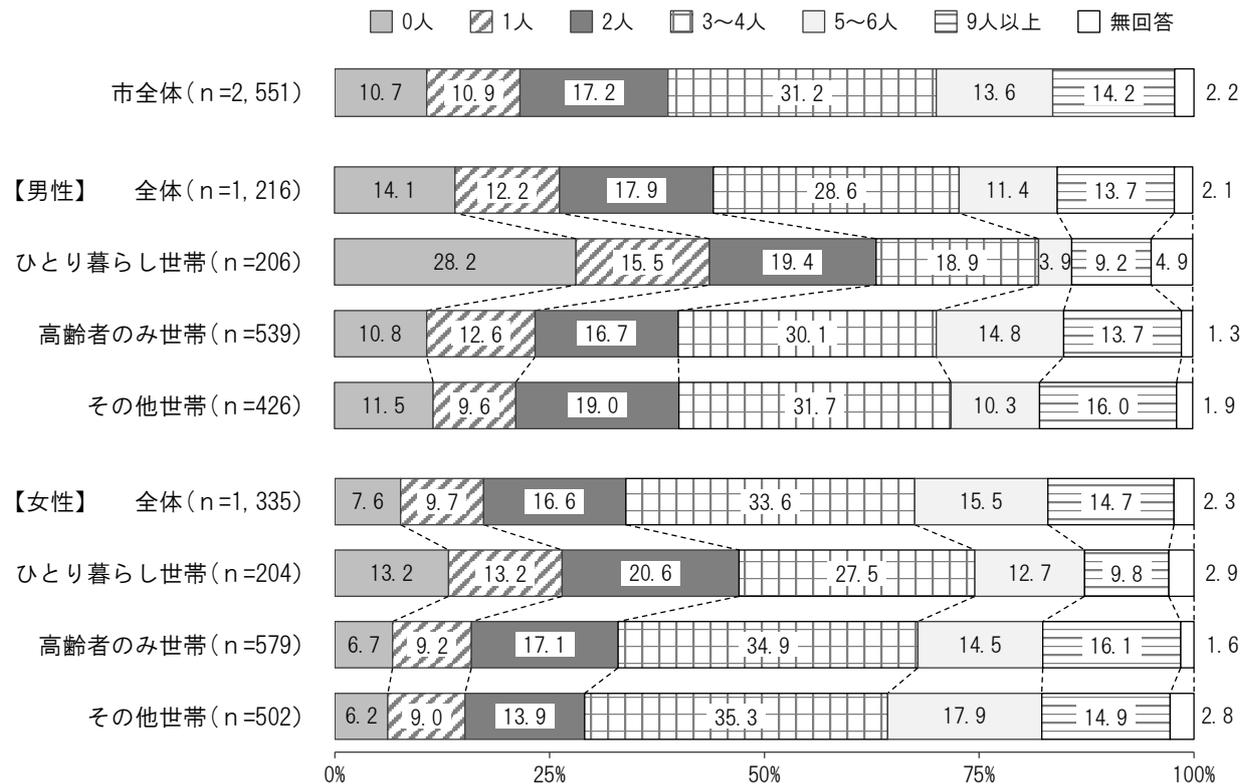
問 15 から問 20 について、あてはまる人数はどのくらいですか。

6－問 15 少なくとも月に1回、会ったり話をしたりする親戚や兄弟

月に1回、会ったり話をする親戚や兄弟の人数は、市全体では「3～4人」が31.2%で最も高く、次いで「2人」が17.2%、「9人以上」が14.2%となっています。

性別・家族構成別にみると、男性のひとり暮らし世帯で「0人」が28.2%となっており、他の家族構成と比べて高くなっています。

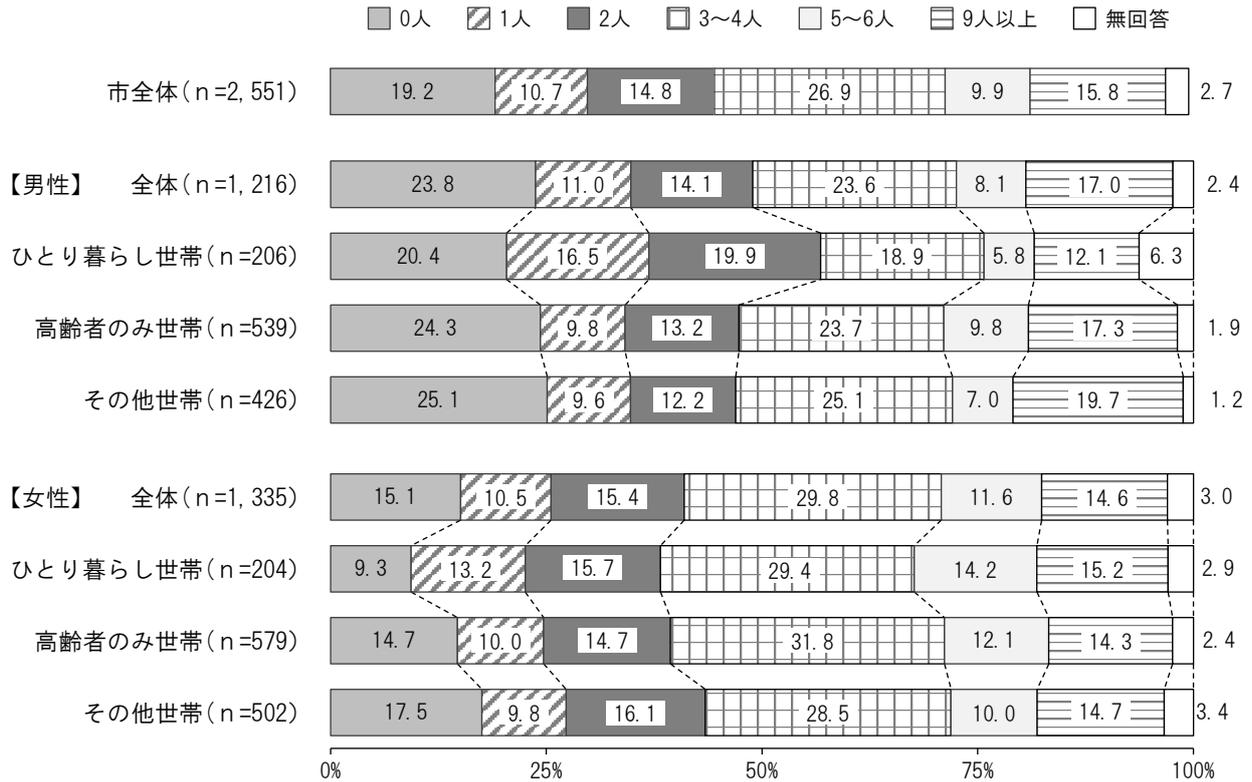
図 4.22 会ったり話をする親戚や兄弟の人数（性別・家族構成別）



6-問 16 少なくとも月に1回、会ったり話をしたりする友人

月に1回、会ったり話をする友人の人数は、市全体では「3～4人」が26.9%で最も高く、次いで「0人」が19.2%、「9人以上」が15.8%となっています。
 性別・家族構成別にみると、「0人」は全ての家族構成で男性が女性を上回っています。また、「1人」「2人」は男性のひとり暮らし世帯で他の家族構成と比べて高く、「3～4人」「5～6人」は全ての家族構成において女性が男性を上回っています。

図 4.23 会ったり話をする友人の人数（性別・家族構成別）

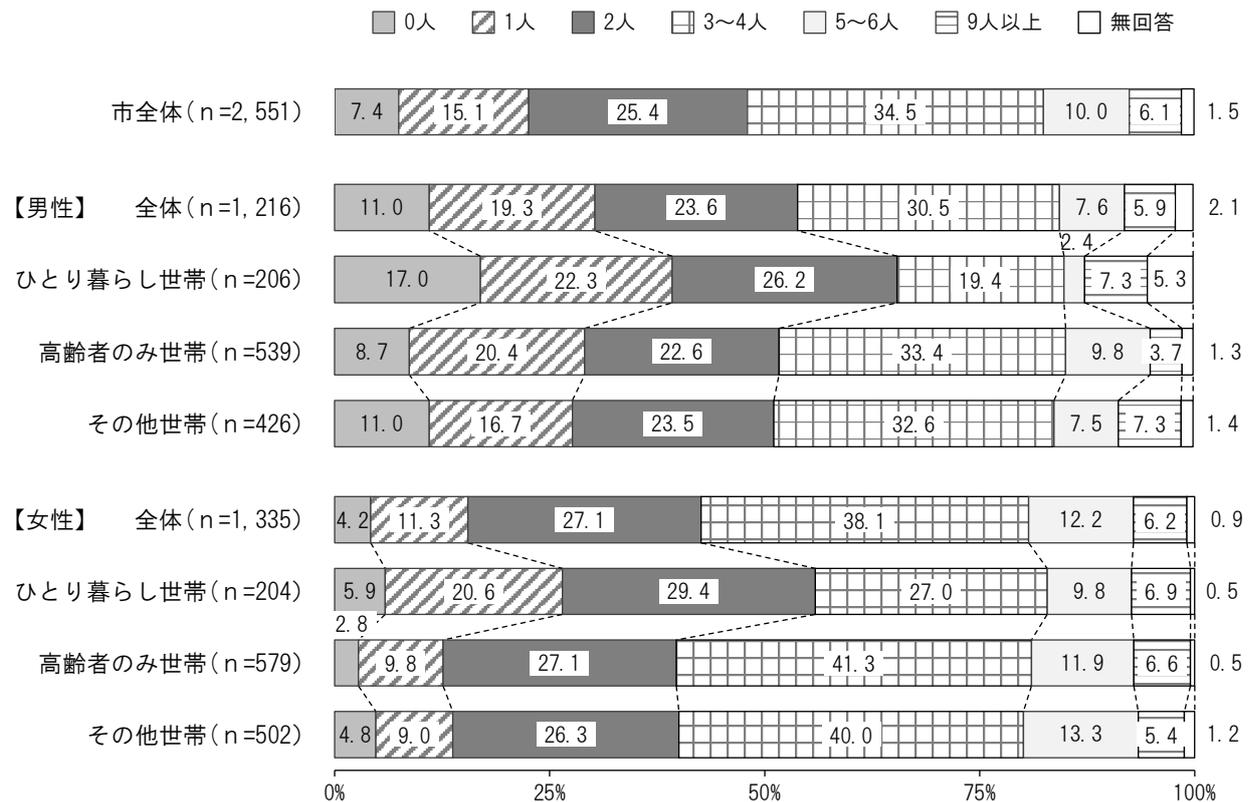


6-問17 あなたが、個人的なことでも気兼ねなく話すことができる親戚や兄弟

個人的なことを話せる親戚や兄弟の人数は、市全体では「3～4人」が34.5%で最も高く、次いで「2人」が25.4%、「1人」が15.1%となっています。

性別・家族構成別にみると、「0人」は男性のひとり暮らし世帯で17.0%となっており、他の家族構成と比べて高くなっています。

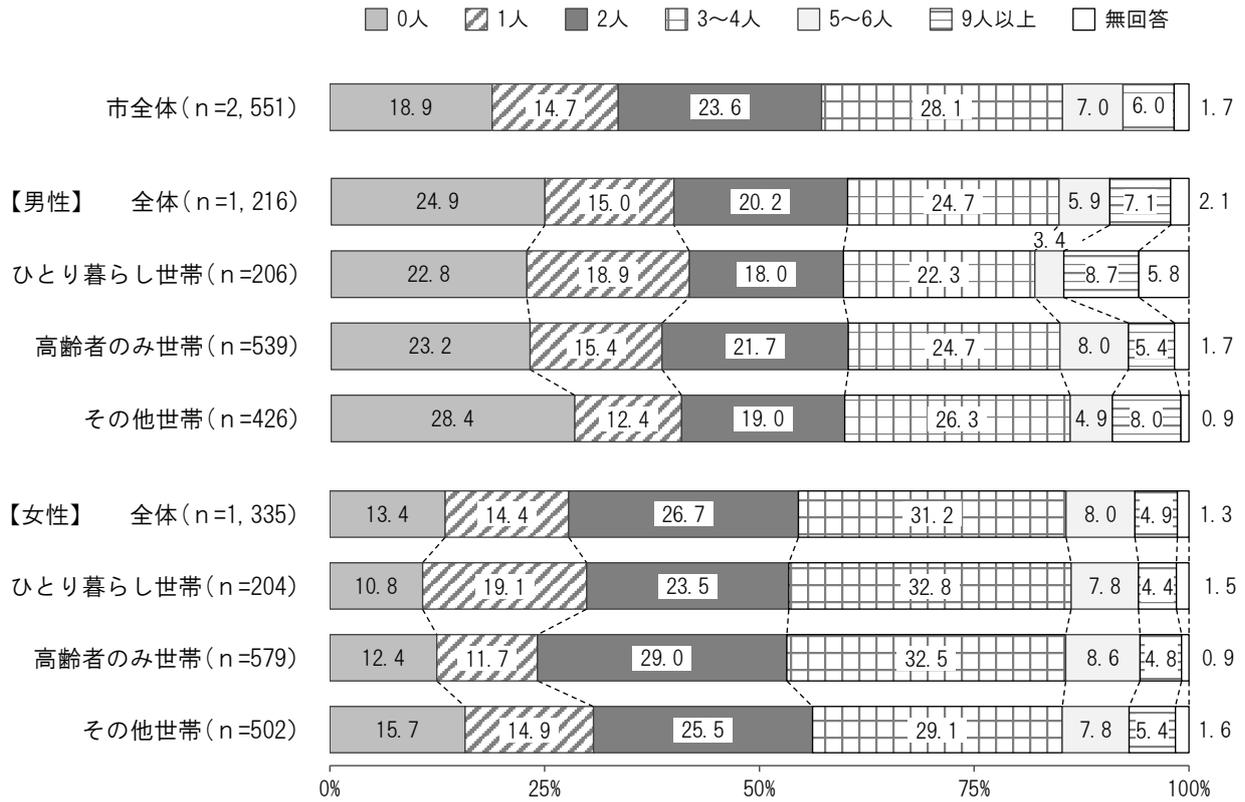
図 4.24 個人的なことを話せる親戚や兄弟の人数（性別・家族構成別）



6-問18 あなたが、個人的なことでも気兼ねなく話することができる友人

個人的なことを気兼ねなく話せる友人の人数は、市全体では「3～4人」が28.1%で最も高く、次いで「2人」が23.6%、「0人」が18.9%となっています。
 性別・家族構成別にみると、「0人」は全ての家族構成で男性が女性を上回っており、男性のその他世帯で28.4%となっています。

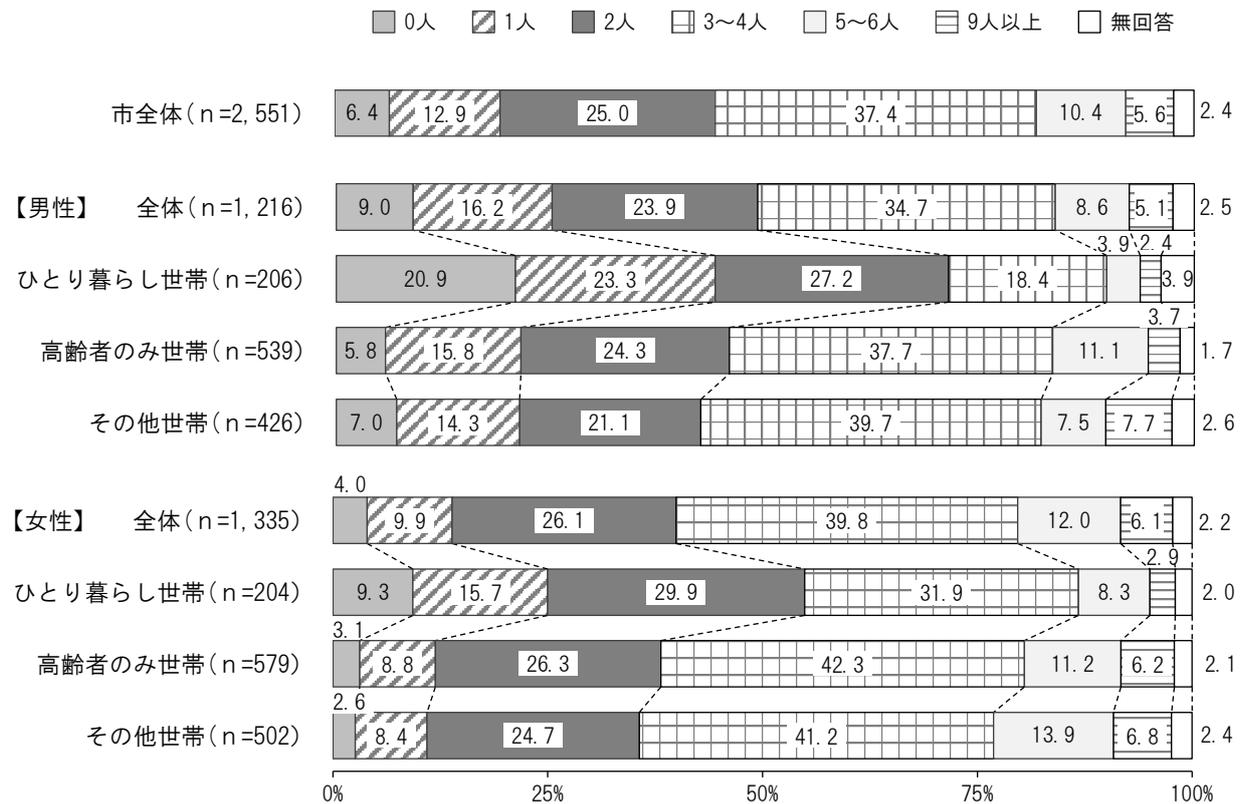
図 4.25 個人的なことを話せる友人の人数（性別・家族構成別）



6-問 19 あなたが助けを求めることができるくらい、身近に感じる親戚や兄弟

助けを求めることができる身近な親戚や兄弟の人数は、市全体では「3~4人」が37.4%で最も高く、次いで「2人」が25.0%、「1人」が12.9%となっています。
 性別・家族構成別にみると、「0人」は男女ともにひとり暮らし世帯が他の家族構成と比べて高く、男性で20.9%、女性で9.3%となっています。

図 4.26 助けを求めるくらい身近な親戚や兄弟の人数（性別・家族構成別）

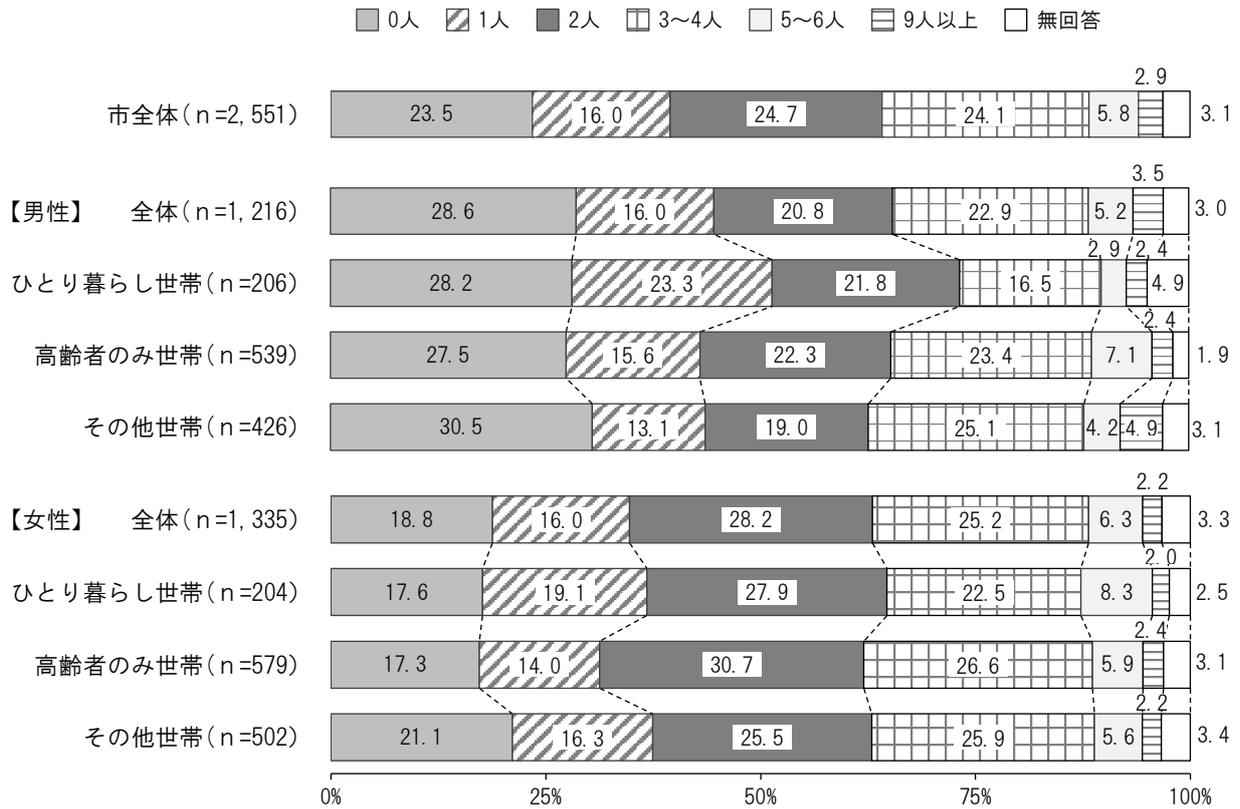


6-問 20 あなたが助けを求めることができるくらい、身近に感じる友人

助けを求めることができる身近な友人の人数は、市全体では「2人」が24.7%で最も高く、次いで「3~4人」が24.1%、「0人」が23.5%となっています。

性別・家族構成別にみると、「0人」は全ての家族構成で男性が女性を上回っています。特に男性のその他世帯で30.5%となり、他の家族構成と比べて高くなっています。

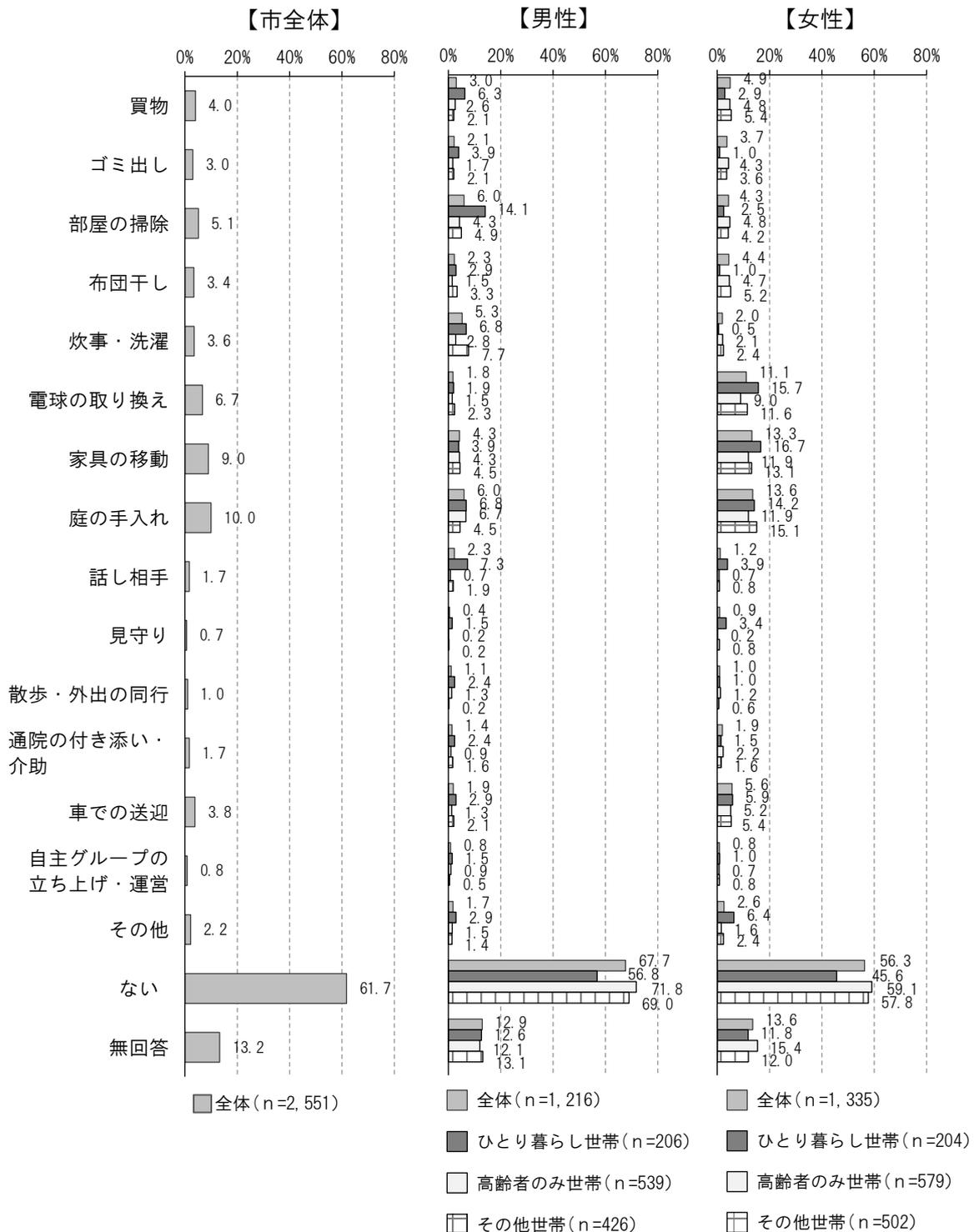
図 4.27 助けを求めるくらい身近な友人の人数（性別・家族構成別）



6 一問 21 日常生活で手助けをしてほしいことはありますか。※○はいくつでも

日常生活で手助けをしてほしいことは、市全体では「庭の手入れ」が 10.0%で最も高く、次いで「家具の移動」が 9.0%となっています。「ない」は 61.7%となっています。
性別・家族構成別にみると、男性のひとり暮らし世帯では「部屋の掃除」が 14.1%、女性のひとり暮らし世帯では「家具の移動」が 16.7%で最も高くなっています。

図 4.28 日常生活で手助けをしてほしいこと（性別・家族構成別）



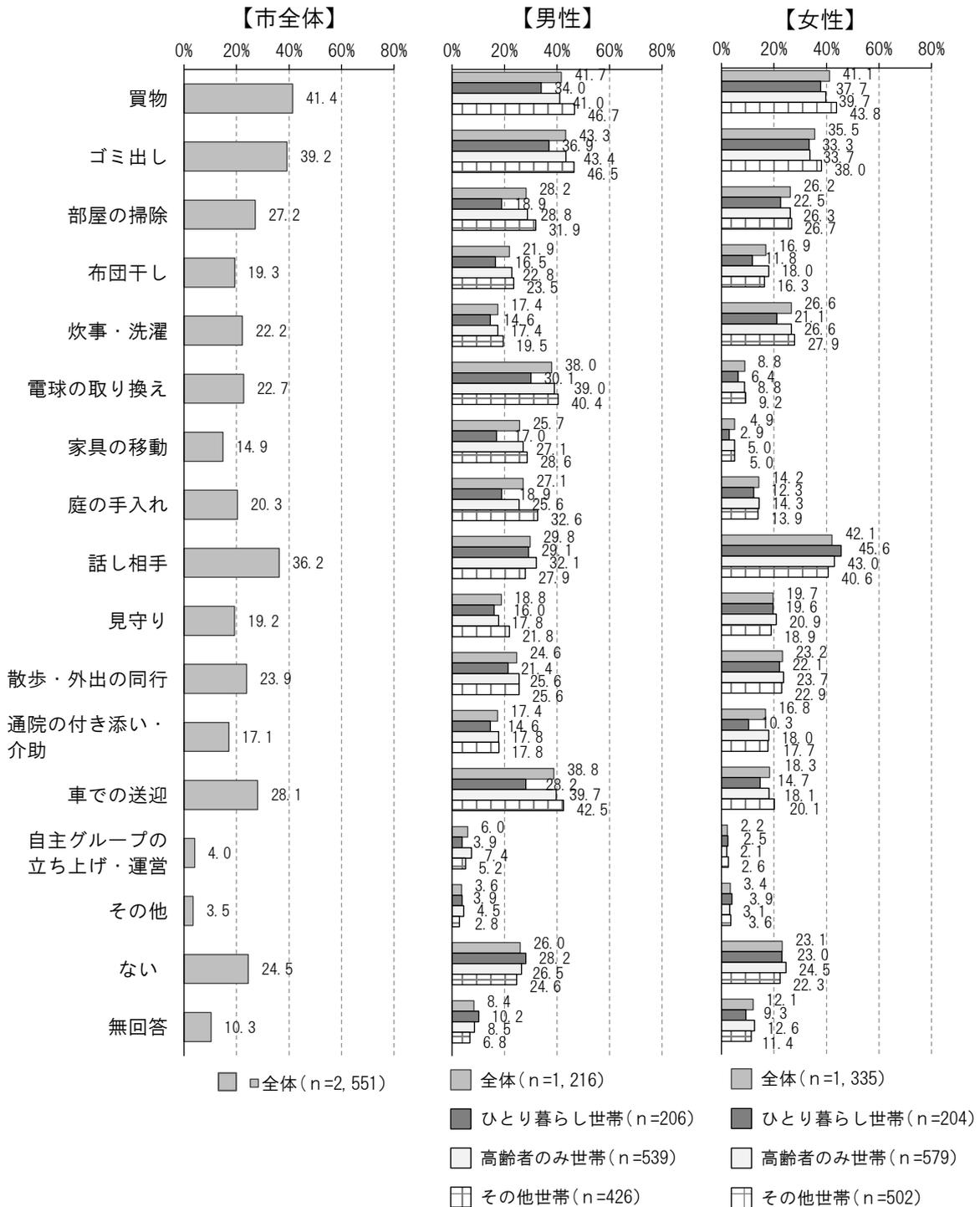
6 一問 22 日常生活で誰かの手助けができることはありますか。

※〇はいくつでも

日常生活で誰かの手助けとしてできることは、市全体では「買物」が41.4%で最も高く、次いで「ゴミ出し」が39.2%、「話し相手」が36.2%となっています。「ない」は24.5%となっています。

性別・家族構成別にみると、男性はその他世帯の「買物」が46.7%で最も高く、女性はひとり暮らし世帯の「話し相手」が45.6%で最も高くなっています。

図 4.29 日常生活で手助けできること（性別・家族構成別）



6 地域での活動について

問1から問7について、以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか。

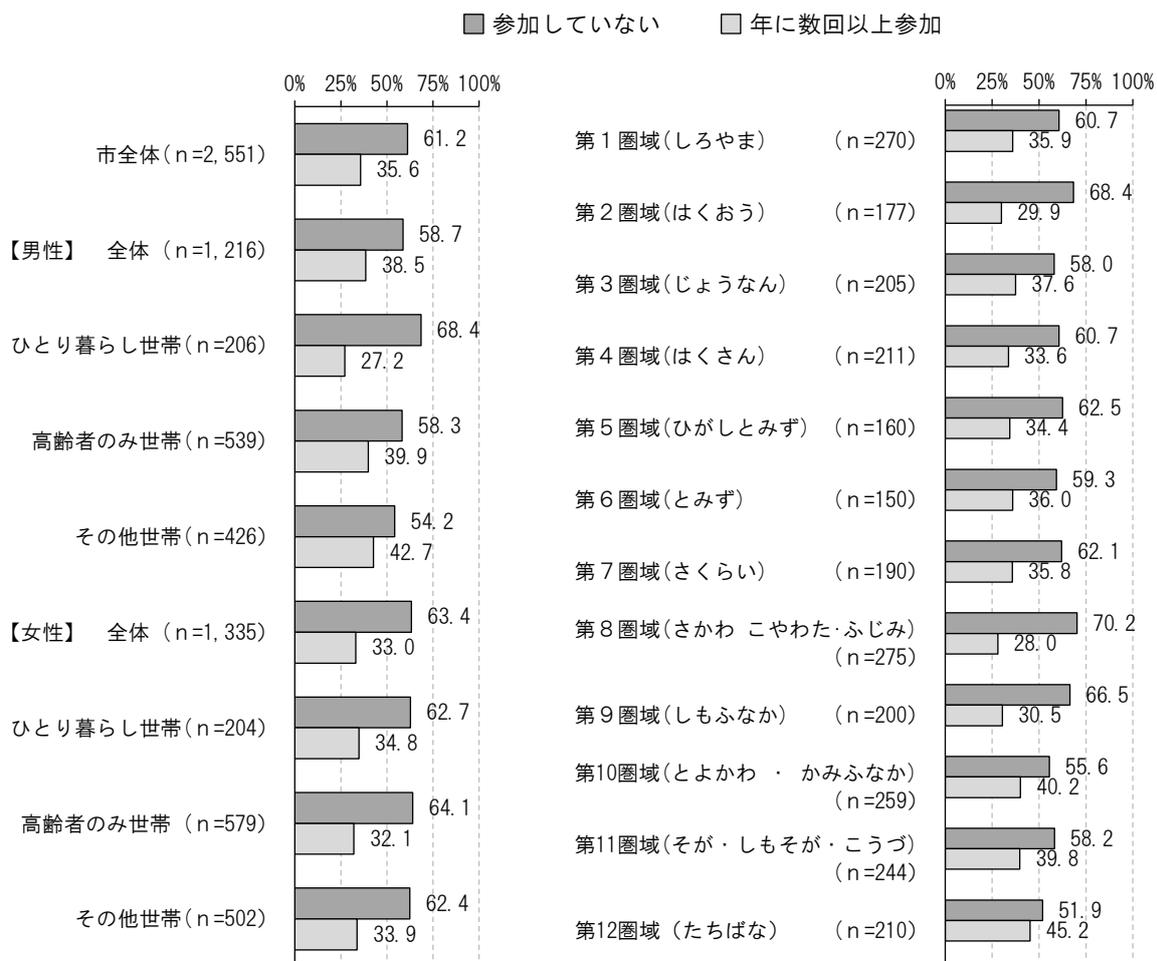
7-問1 自治会

自治会の参加頻度について、市全体では「参加していない」が61.2%、「年に数回以上参加」が35.6%となっています。

性別・家族構成別にみると、全体では「参加していない」は女性が男性を上回り、家族構成別では男性のひとり暮らし世帯が他と比べて高くなっています。

日常生活圏域別にみると、「参加していない」は第8圏域（さかわ こやわた・ふじみ）で70.2%、「年に数回以上参加」は第12圏域（たちばな）で45.2%となり、他の圏域と比べて高くなっています。

図 4.30 自治会の参加頻度（性別・家族構成別/日常生活圏域別）



※「年に数回以上参加」は「週4回以上」、「週2～3回」、「週1回」、「月1～3回」、「年に数回」の割合を合わせたもの

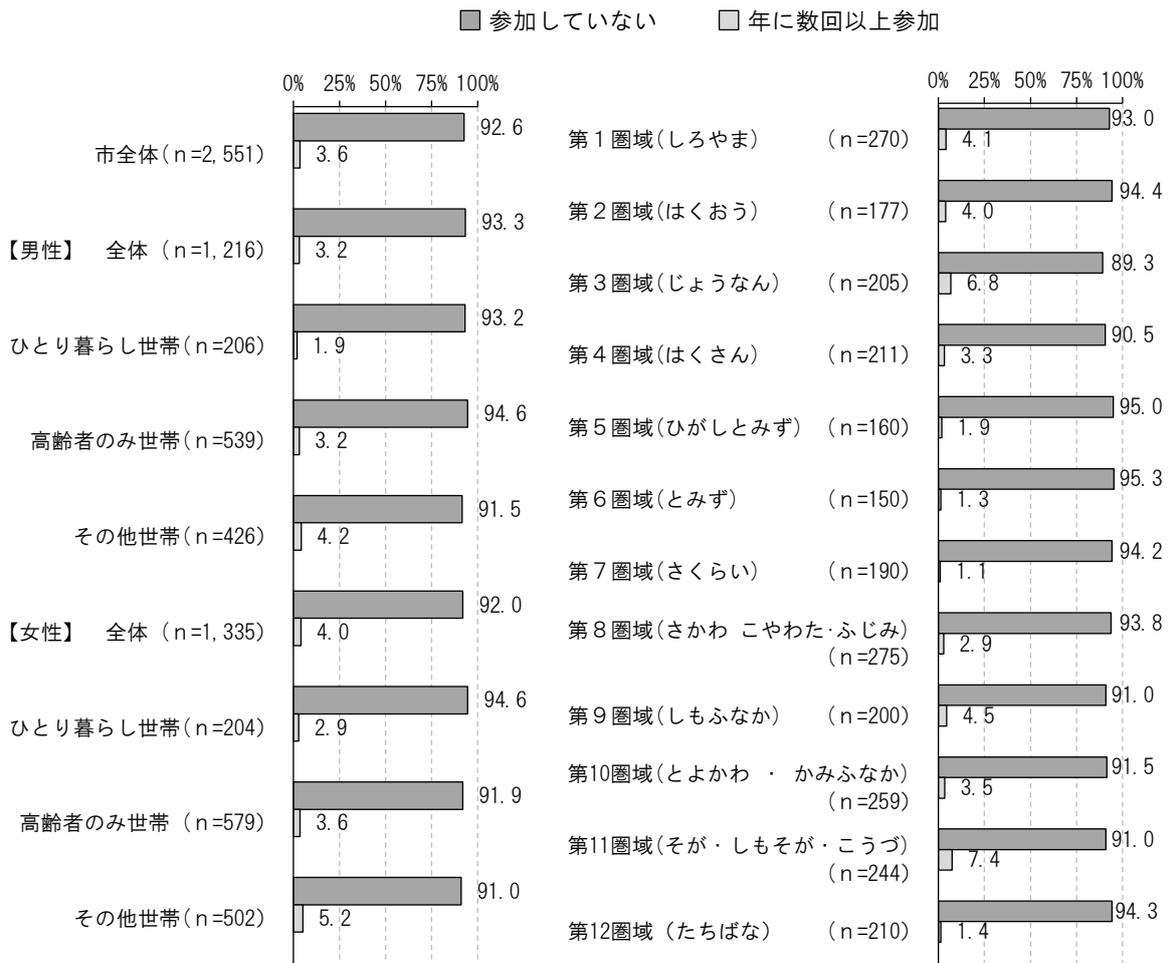
7-問2 老人会、老人(高齢者)クラブ

老人会、老人(高齢者)クラブの参加頻度は、市全体では「参加していない」が92.6%、「年に数回以上参加」が3.6%となっています。

性別・家族構成別にみても、大きな差はみられません。

日常生活圏域別にみると、「参加していない」は第6圏域(とみず)で95.3%、「年に数回以上参加」は第11圏域(そが・しもそが・こうづ)で7.4%となり、他の圏域と比べて高くなっています。

図 4.31 老人会、老人(高齢者)クラブの参加頻度(性別・家族構成別/日常生活圏域別)



※「年に数回以上参加」は「週4回以上」、「週2～3回」、「週1回」、「月1～3回」、「年に数回」の割合を合わせたもの

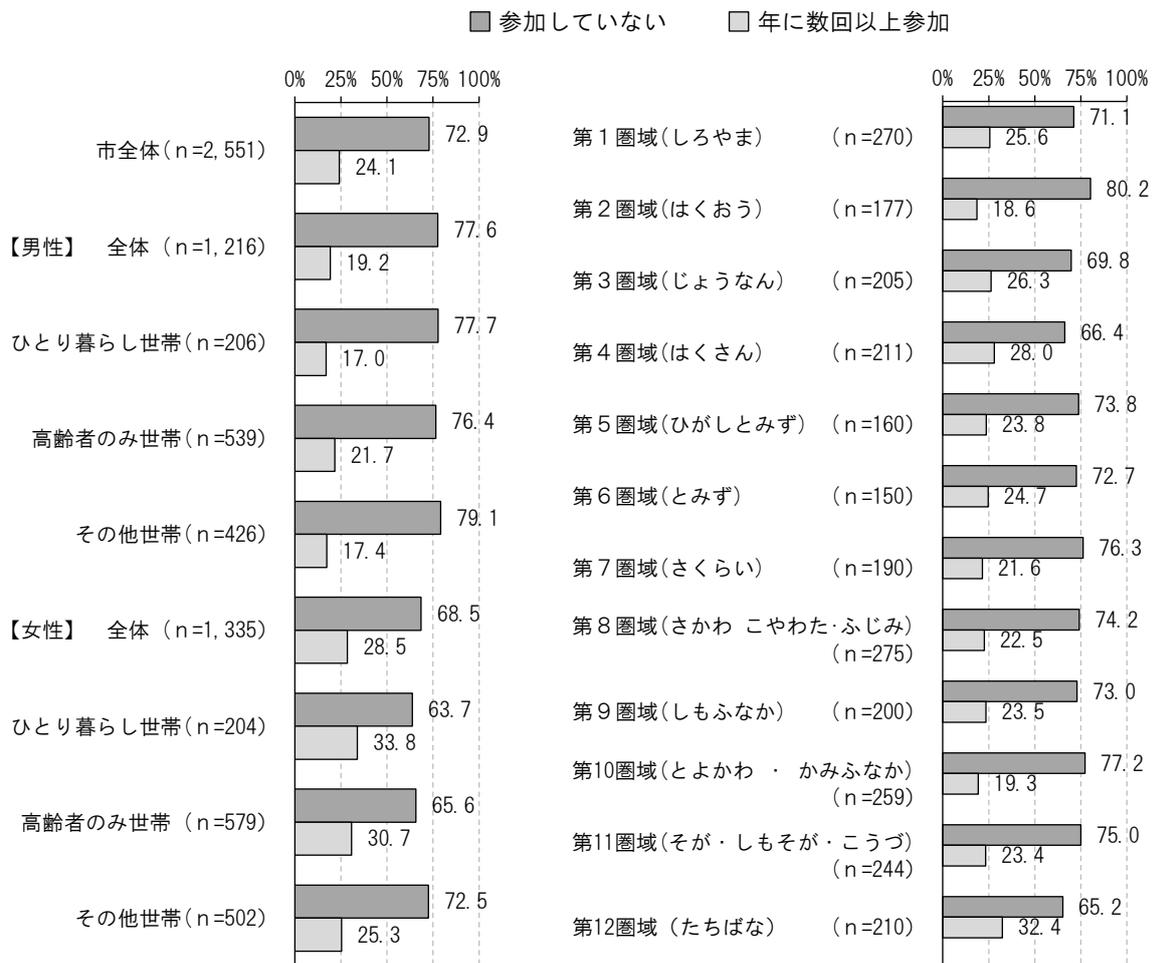
7-問3 趣味のサークルや団体

趣味のサークルや団体の参加頻度は、市全体では「参加していない」が72.9%、「年に数回以上参加」が24.1%となっています。

性別・家族構成別にみると、「参加していない」は男女ともにその他世帯で、他の家族構成と比べて高くなっています。

日常生活圏域別にみると、「参加していない」は第2圏域（はくおう）で80.2%、「年に数回以上参加」は第12圏域（たちばな）で32.4%となり、他の圏域と比べて高くなっています。

図 4.32 趣味のサークルや団体の参加頻度（性別・家族構成別/日常生活圏域別）



※「年に数回以上参加」は「週4回以上」、「週2〜3回」、「週1回」、「月1〜3回」、「年に数回」の割合を合わせたもの

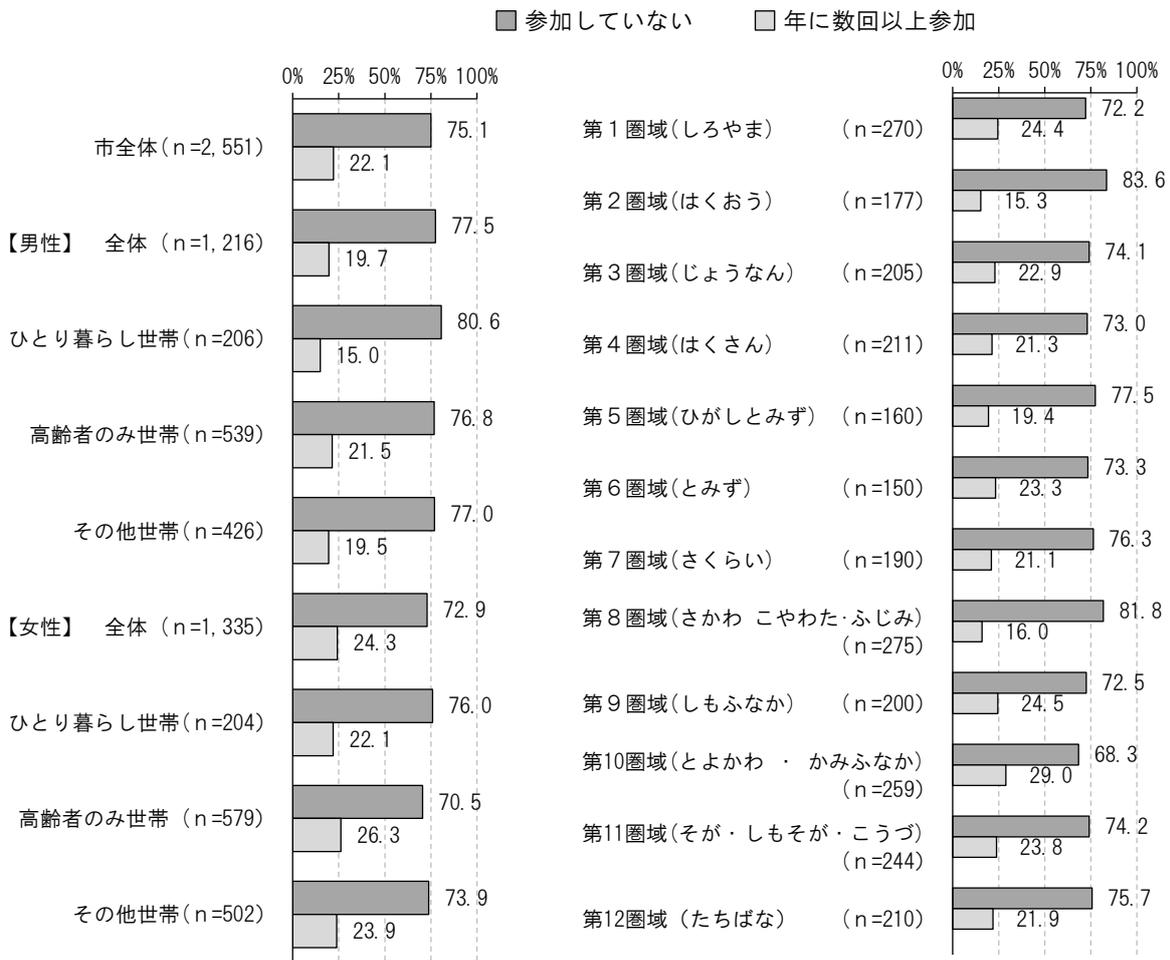
7-問4 スポーツのサークルや団体

スポーツのサークルや団体への参加頻度は、市全体では「参加していない」が75.1%、「年に数回以上参加」が22.1%となっています。

性別・家族構成別にみると、「参加していない」は男性のひとり暮らし世帯で80.6%となっており、他の家族構成と比べて高くなっています。

日常生活圏域別にみると、「参加していない」は第2圏域（はくおう）で83.6%、「年に数回以上参加」は第10圏域（とよかわ・かみふなか）で29.0%となり、他の圏域と比べて高くなっています。

図 4.33 スポーツのサークルや団体の参加頻度（性別・家族構成別/日常生活圏域別）



※「年に数回以上参加」は「週4回以上」、「週2～3回」、「週1回」、「月1～3回」、「年に数回」の割合を合わせたもの

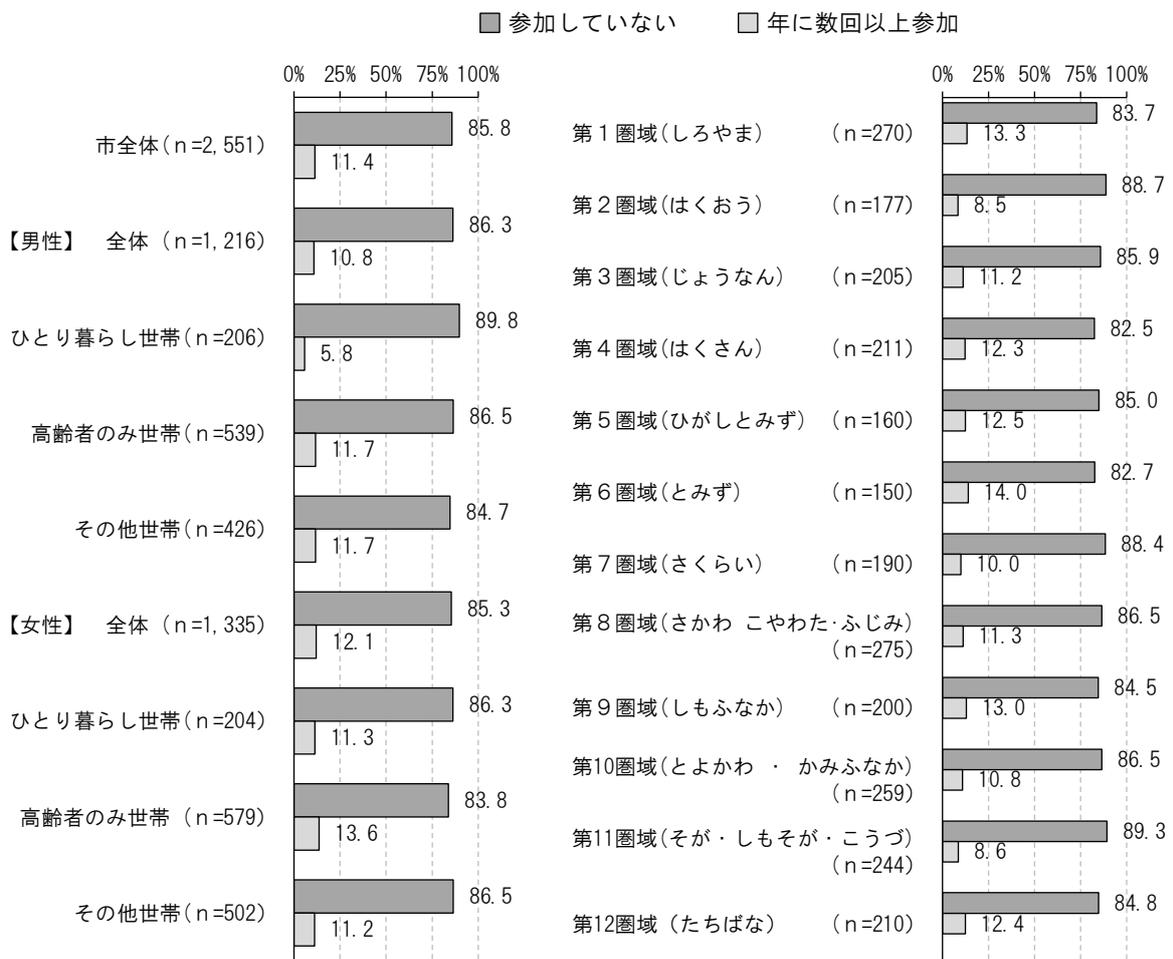
7-問5 ボランティア団体や市民活動団体・NPO

ボランティア団体や市民活動団体・NPOの参加頻度は、市全体では「参加していない」が85.8%、「年に数回以上参加」が11.4%となっています。

性別・家族構成別にみると、「参加していない」は男性のひとり暮らし世帯で89.8%となっており、他の家族構成と比べてやや高くなっています。

日常生活圏域別にみると、「参加していない」は第11圏域（そが・しもそが・こうづ）で89.3%、「年に数回以上参加」は第6圏域（とみず）で14.0%となり、他の圏域と比べて高くなっています。

図 4.34 ボランティア団体や市民活動団体・NPOの参加頻度（性別・家族構成別/日常生活圏域別）



※「年に数回以上参加」は「週4回以上」、「週2～3回」、「週1回」、「月1～3回」、「年に数回」の割合を合わせたもの

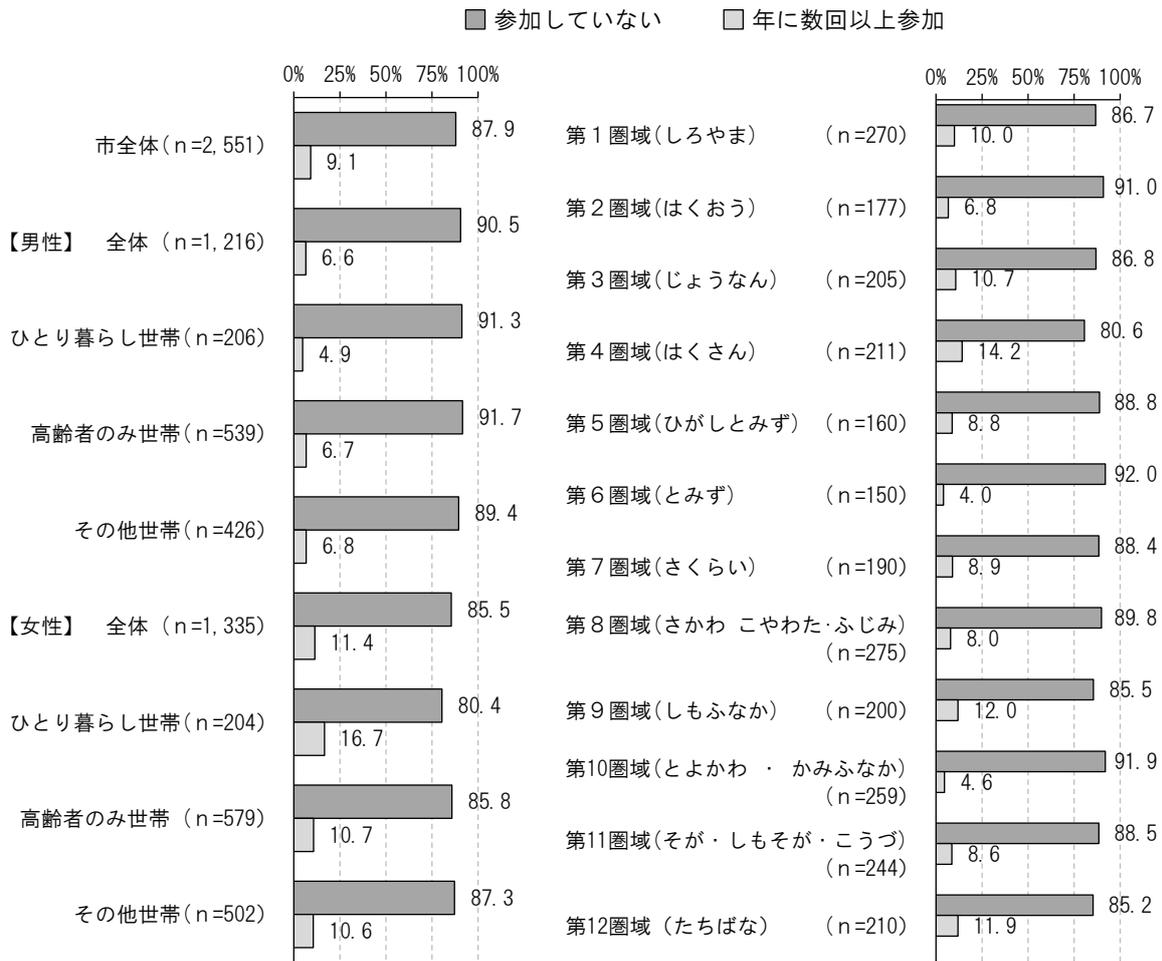
7-問6 学習・教養関係の団体やサークル

学習・教養関係の団体やサークルの参加頻度は、市全体では「参加していない」が87.9%、「年に数回以上参加」が9.1%となっています。

性別・家族構成別にみると、「参加していない」は男性の高齢者のみ世帯で91.7%となっており、他の家族構成と比べて高くなっています。

日常生活圏域別にみると、「参加していない」は第6圏域（とみず）で92.0%、「年に数回以上参加」は第4圏域（はくさん）で14.2%となり、他の圏域と比べて高くなっています。

図 4.35 学習・教養関係の団体やサークルの参加頻度（性別・家族構成別/日常生活圏域別）



※「年に数回以上参加」は「週4回以上」、「週2～3回」、「週1回」、「月1～3回」、「年に数回」の割合を合わせたもの

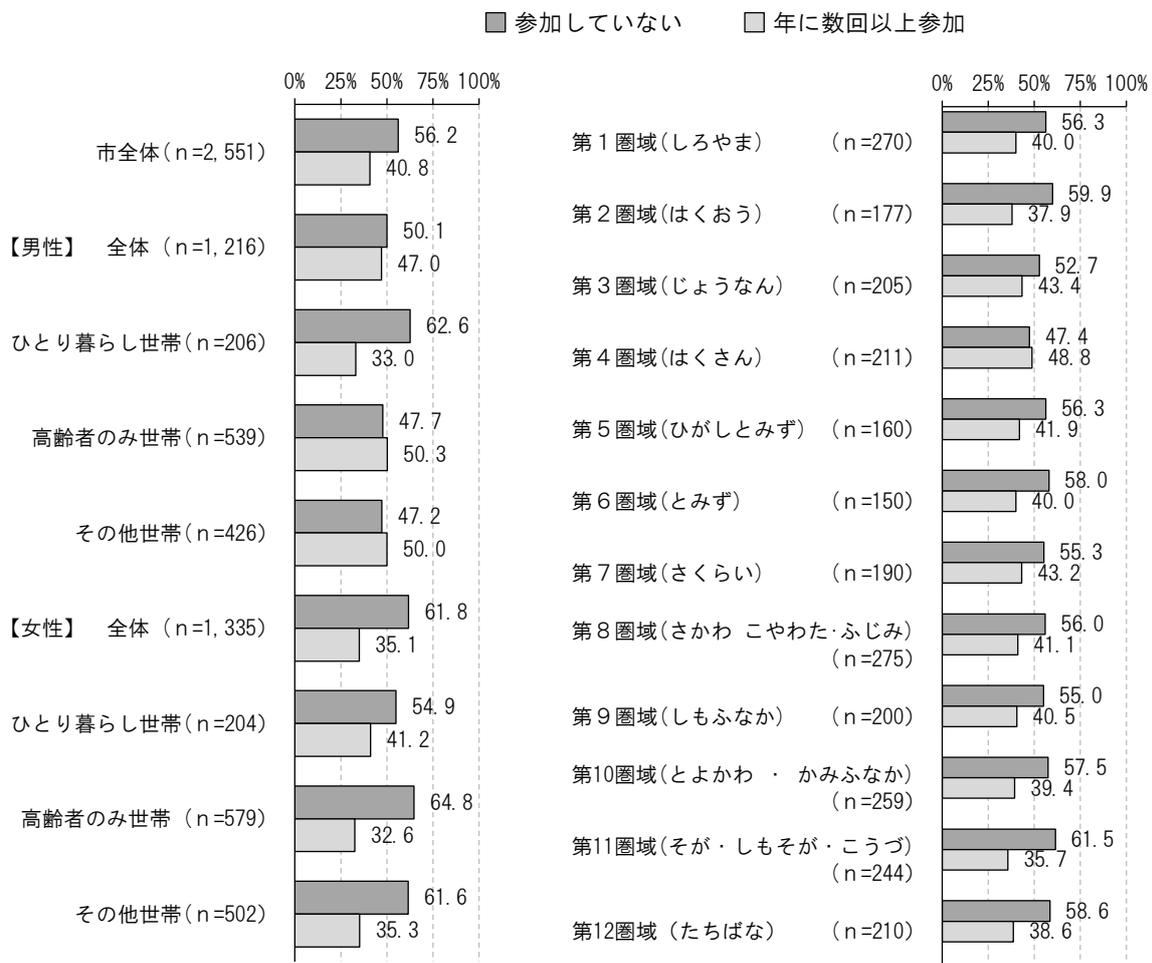
7-問7 収入のある仕事

収入のある仕事の頻度は、市全体では「参加していない」が56.2%、「年に数回以上参加」が40.8%となっています。

性別・家族構成別にみると、「参加していない」は女性の高齢者のみ世帯で64.8%となっており、他の家族構成と比べて高くなっています。

日常生活圏域別にみると、「参加していない」は第11圏域（そが・しもそが・こうづ）で61.5%、「年に数回以上参加」は第4圏域（はくさん）で48.8%となっており、他の圏域と比べて高くなっています。

図 4.36 収入のある仕事の参加頻度（性別・家族構成別/日常生活圏域別）



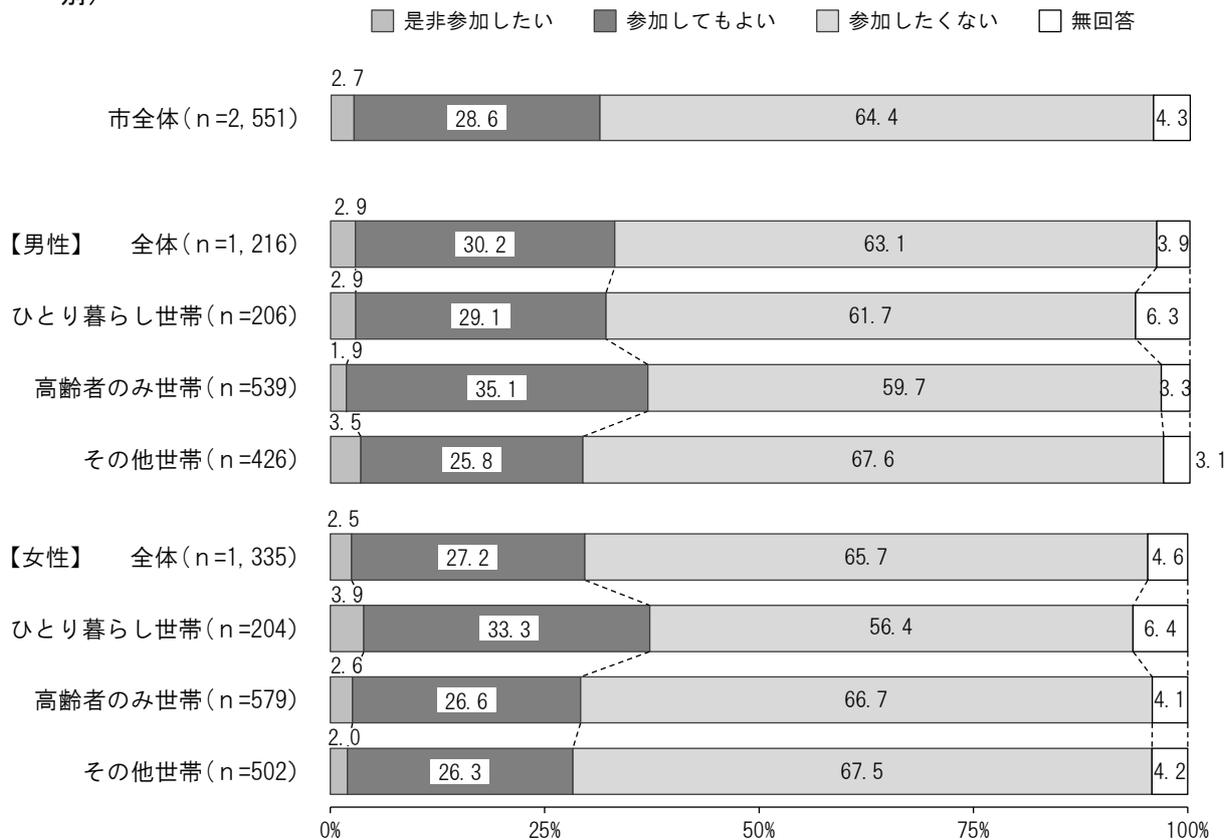
※「年に数回以上参加」は「週4回以上」、「週2～3回」、「週1回」、「月1～3回」、「年に数回」の割合を合わせたもの

7-問8 健康づくり活動や趣味等のグループ活動などの企画・運営(お世話役)として参加してみたいと思いますか。

健康づくり活動や趣味等のグループ活動の世話役としての参加意向は、市全体では「参加したくない」が64.4%、「参加してもよい」「是非参加したい」を合わせた『参加希望』は31.3%となっています。

性別・家族構成別にみると、「参加したくない」は男性のその他世帯で67.6%、『参加希望』の割合は女性のひとり暮らし世帯で37.2%となり、他の家族構成と比べて高くなっています。

図 4.37 健康づくり活動や趣味等のグループ活動の世話役としての参加意向 (性別・家族構成別)

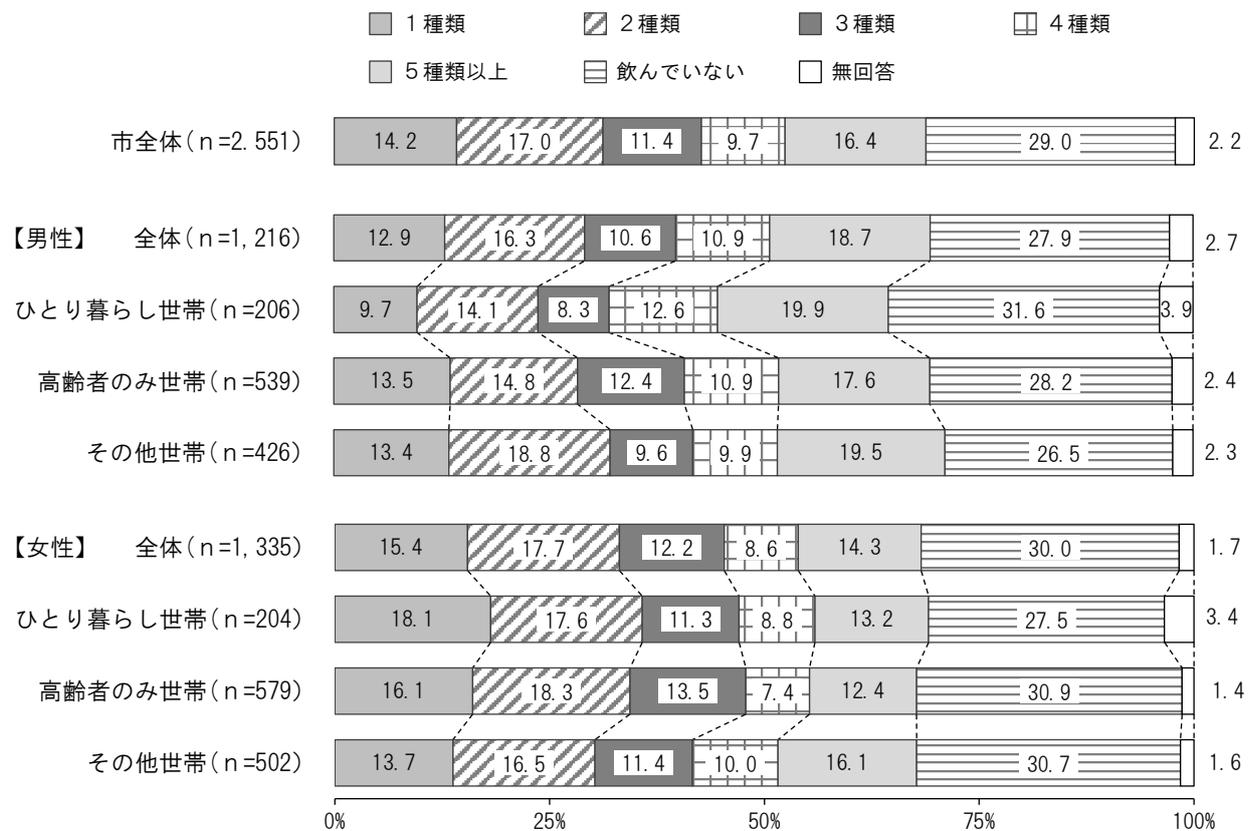


7 健康について

8-問1 現在、医師の処方した薬を何種類飲んでいきますか。

医師の処方した薬を何種類飲んでいるかについて、市全体では「2種類」が17.0%、「5種類以上」が16.4%となっていますが、「飲んでいない」は29.0%で最も高くなっています。
性別・家族構成別にみると、男性はひとり暮らし世帯の「5種類以上」が19.9%、女性は高齢者のみ世帯の「2種類」が18.3%で、他の家族構成と比べて高くなっています。

図 4.38 薬の服用状況（性別・家族構成別）

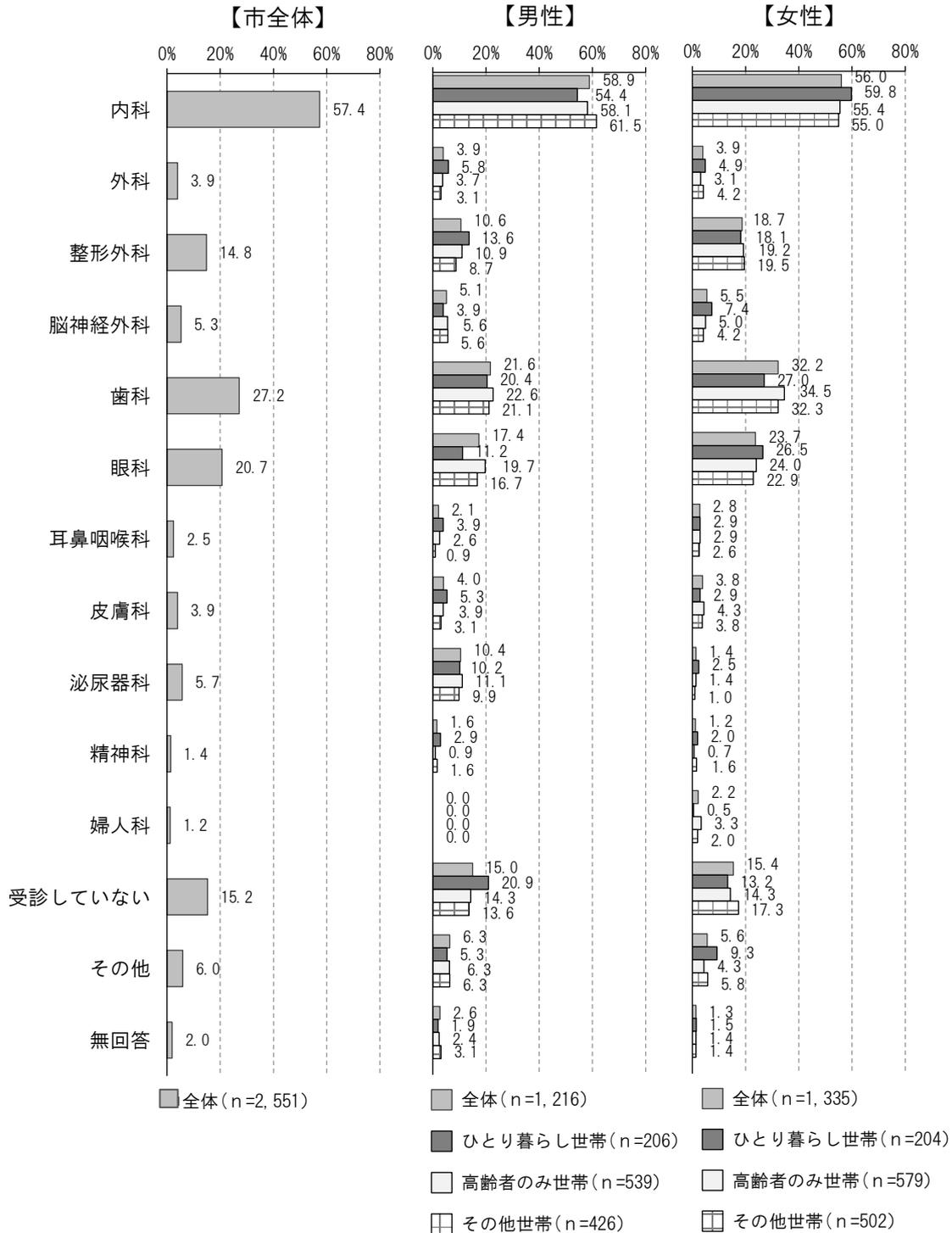


8-問2 現在、定期的に受診している診療科はありますか。※〇はいくつでも

定期的に通診している診療科は、市全体では「内科」が57.4%で最も高く、次いで「歯科」が27.2%となっています。

性別・家族構成別にみると、「内科」は男性のその他世帯が61.5%、女性のひとり暮らし世帯が59.8%となっています。「歯科」は高齢者のみ世帯が男女ともに最も高く、男性が22.6%、女性が34.5%となっています。

図 4.39 定期的に通診している診療科（性別・家族構成別）



8 小田原市で実施していることについて

9-問1 市が開催している介護予防教室（65歳からの筋トレ教室や食で生き生き！栄養教室など）があることを知っていますか。

介護予防教室の認知度は、市全体では「知っているし、参加したことがある」が7.1%、「知っているが、参加したことはない」が34.0%となり、両者を合わせた『認知度』は41.1%となっています。

性別・家族構成別にみると、女性の『認知度』はいずれの家族構成においても男性を大きく上回っています。

日常生活圏域別にみると、『認知度』は第12圏域（たちばな）が47.7%で最も高く、第2圏域（はくおう）が36.1%で最も低くなっています。

図 4.40 介護予防教室の認知度（性別・家族構成別）

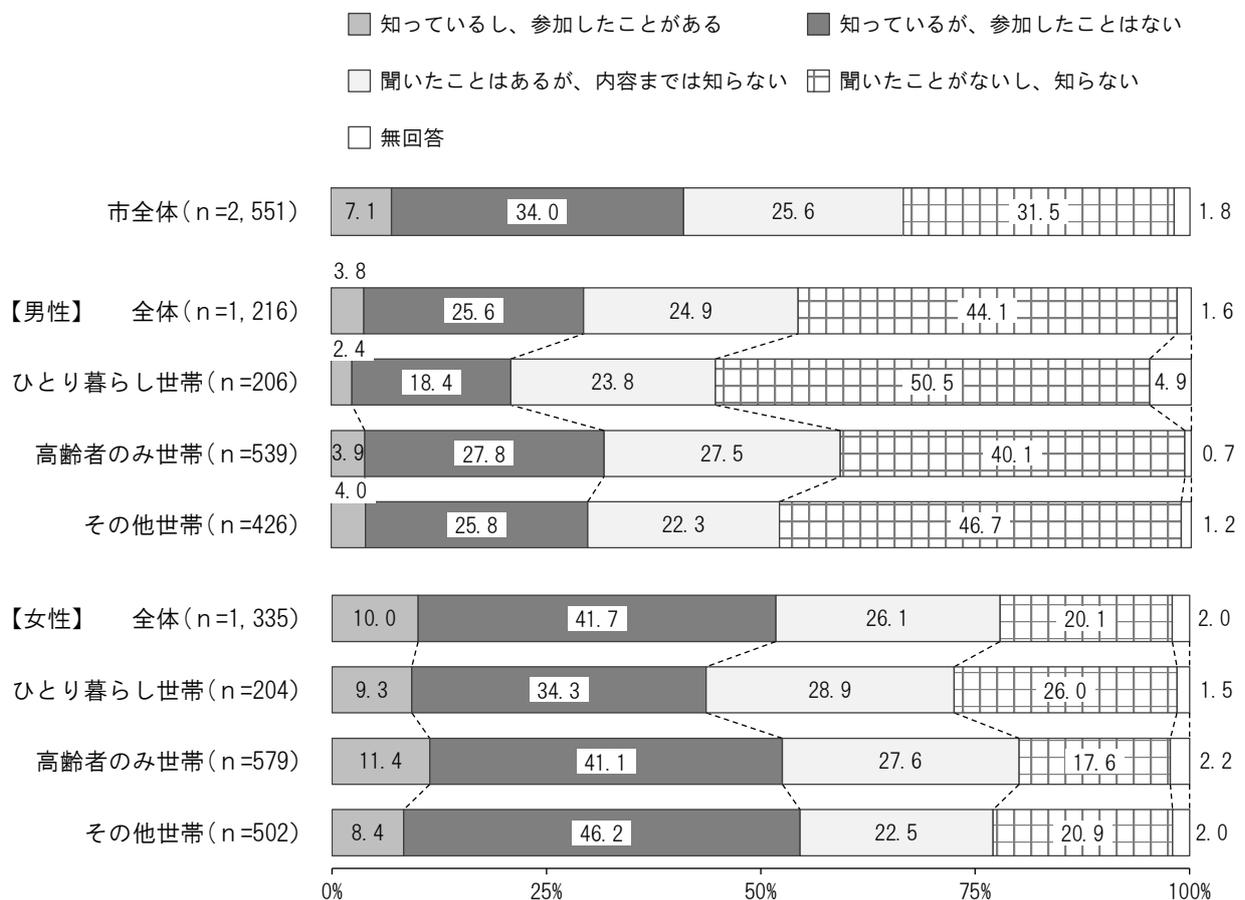
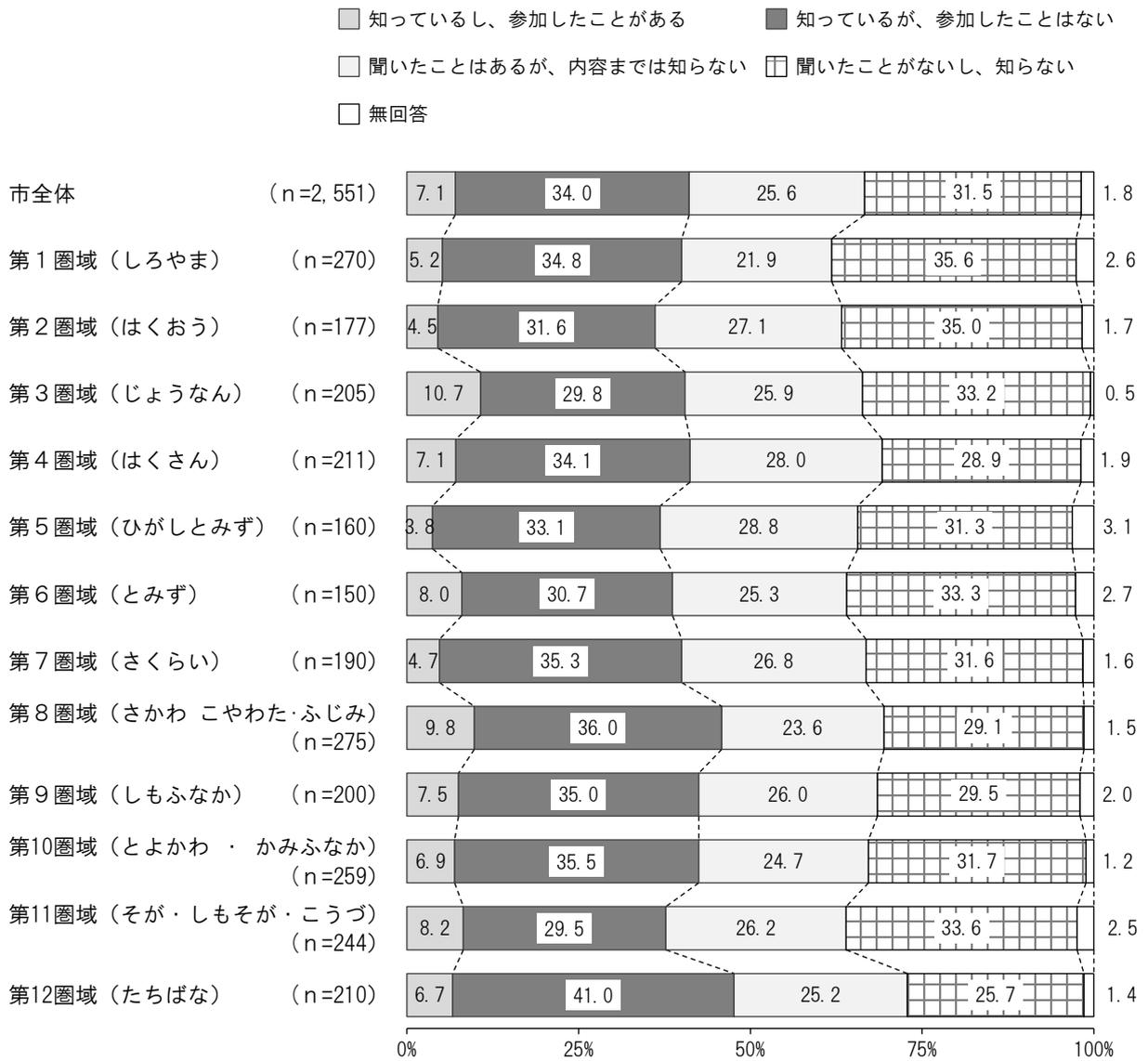


図 4.41 介護予防教室の認知度（日常生活圏域別）



9-問2 介護予防の各種教室に参加したいと思いますか。

介護予防教室の参加意向は、市全体では「是非参加したい」が1.3%、「機会があれば参加したい」が47.6%となり、「両者を合わせた『参加希望』」は48.9%となっています。

性別・家族構成別にみると、『参加希望』は男性は高齢者のみ世帯が42.1%、女性はひとり暮らし世帯が57.3%で高くなっていますが、一方で、「参加したくない」は男性の高齢者のみ世帯が56.0%、女性のその他世帯が41.6%で、他の家族構成と比べて高くなっています。

日常生活圏域別にみると、『参加希望』は、第6圏域（とみず）が58.0%で最も高く、第11圏域（そが・しもそが・こうづ）が43.8%で最も低くなっています。

図 4.42 介護予防教室の参加意向（性別・家族構成別）

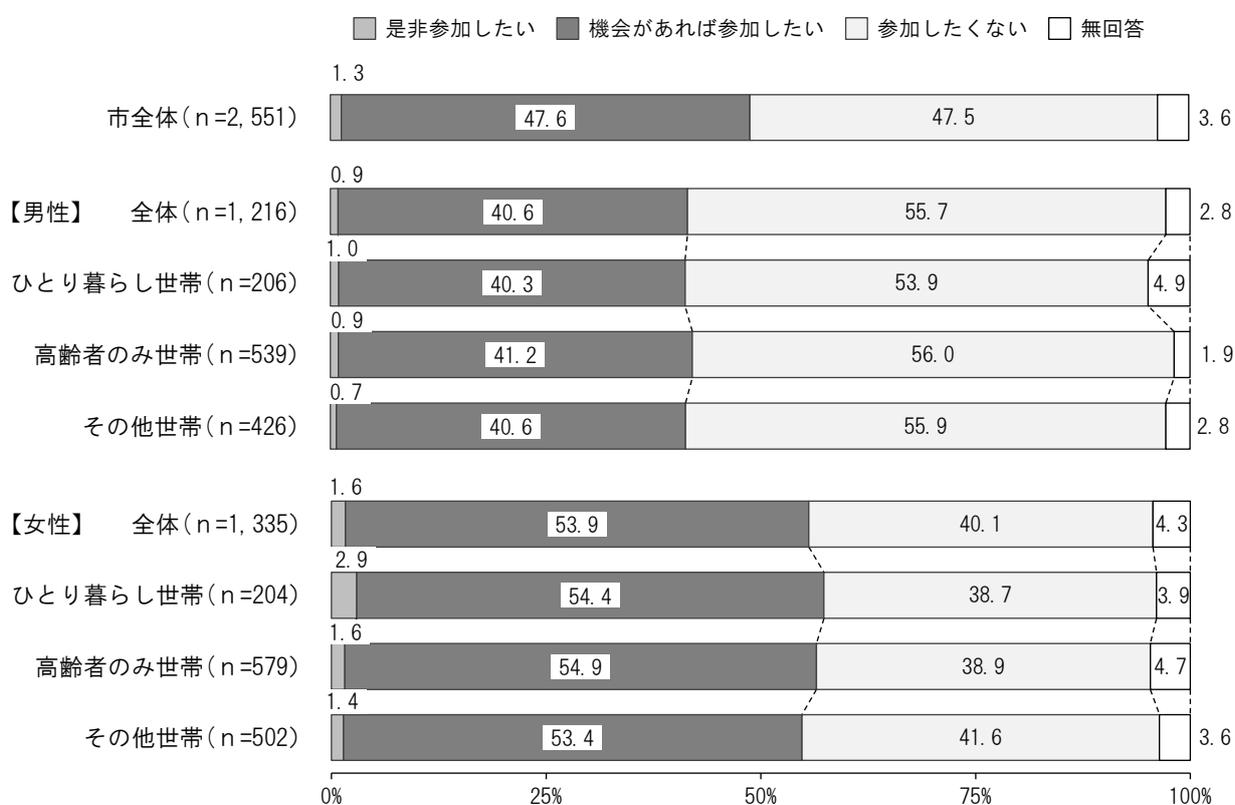
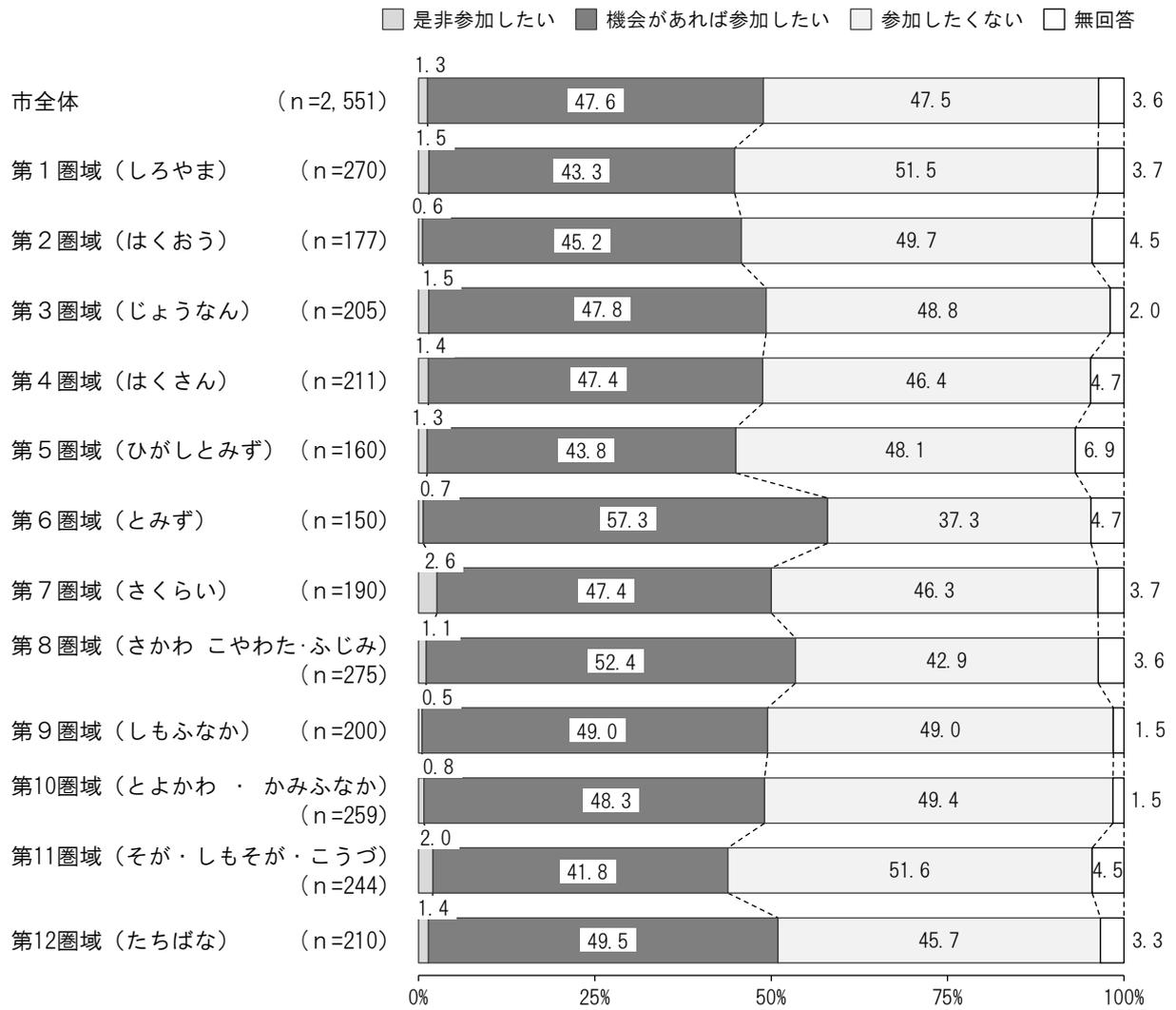


図 4.43 介護予防教室の参加意向（日常生活圏域別）



9-問3 地域包括支援センターを知っていますか。

地域包括支援センターの認知度は、市全体では「名前を知っているし、業務内容も大体知っている」が17.1%、「名前を知っているし、業務内容も少しは知っている」が21.1%となり、両者を合わせた『認知度』は38.2%となっています。

性別・家族構成別にみると、女性の『認知度』は全ての家族構成で男性を上回っており、40%を超えています。

日常生活圏域別にみると、『認知度』は第4圏域（はくさん）が49.7%で最も高く、第11圏域（そが・しもそが・こうづ）が31.1%で最も低くなっています。

図 4.44 地域包括支援センターの認知度（性別・家族構成別）

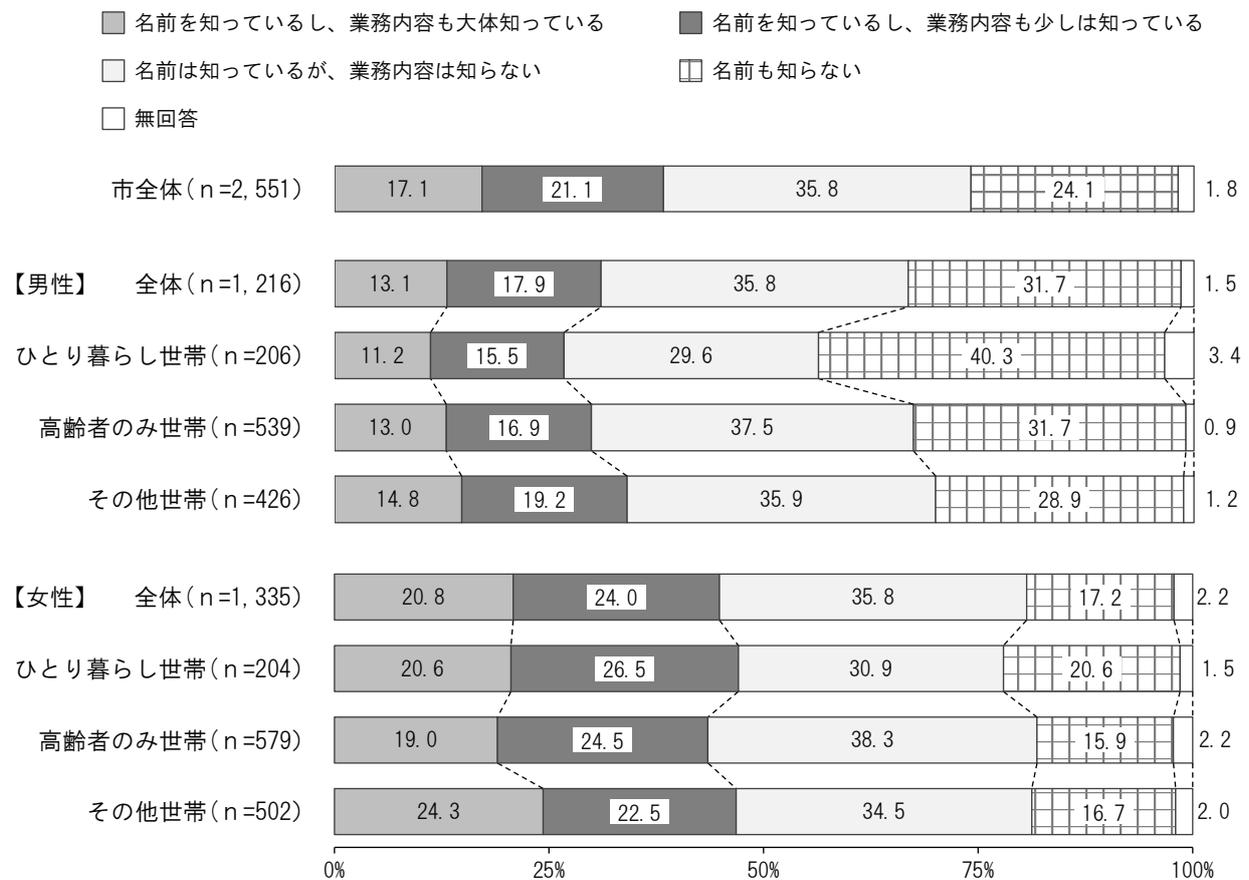


図 4.45 地域包括支援センターの認知度（日常生活圏域別）

